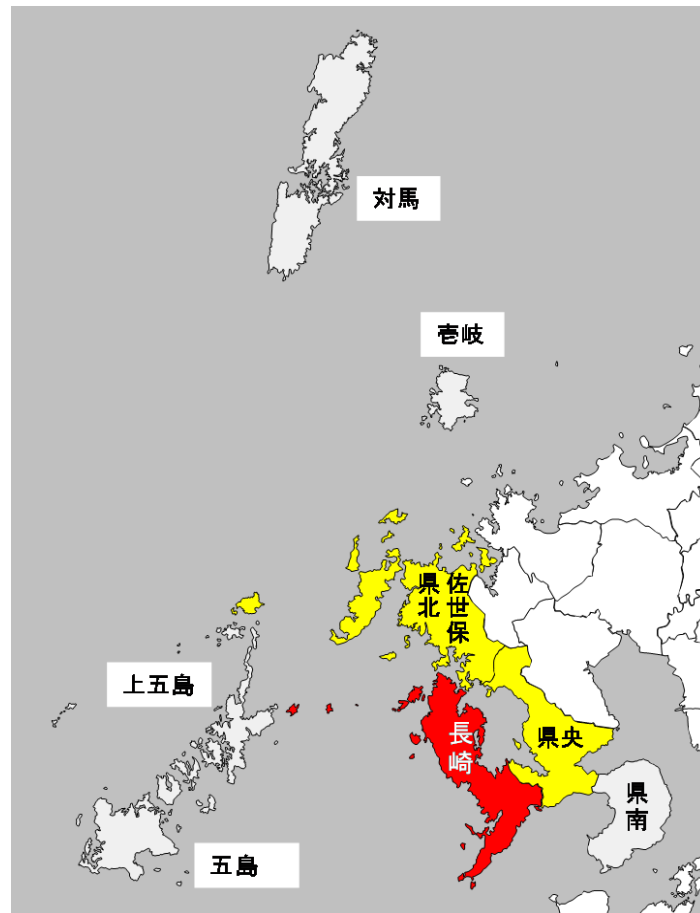


# 42. 長崎県

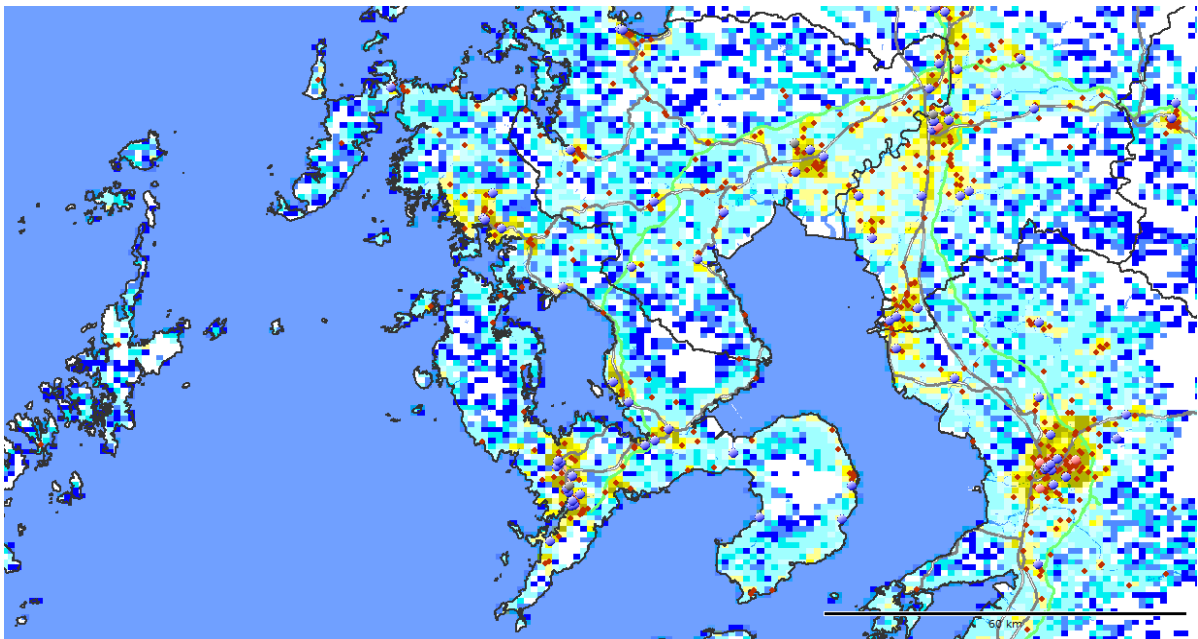


目次

長崎県	42	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	42	-	8
1. 長崎医療圏	42	-	26
2. 佐世保県北医療圏	42	-	31
3. 県央医療圏	42	-	36
4. 県南医療圏	42	-	41
5. 五島医療圏	42	-	46
6. 上五島医療圏	42	-	51
7. 壱岐医療圏	42	-	56
8. 対馬医療圏	42	-	61

# 42. 長崎県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (長崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長崎県は、総人口約1377千人(2015年)、面積4132km<sup>2</sup>、人口密度は333人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 長崎県の総人口は2025年に1250千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1049千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の213千人が、2025年にかけて252千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には260千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長崎県の一人当たり医療費(国保)は405千円(偏差値64)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長崎県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.88で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値65と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22575人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12730床(偏差値49)、高齢者住宅等が9845床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17773人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム42、軽費ホーム60、グループホーム69、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2901人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

長崎県の総人口は、2005年1478632人が、2015年に1377187人と7%減少し、2025年の人口が1250016人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

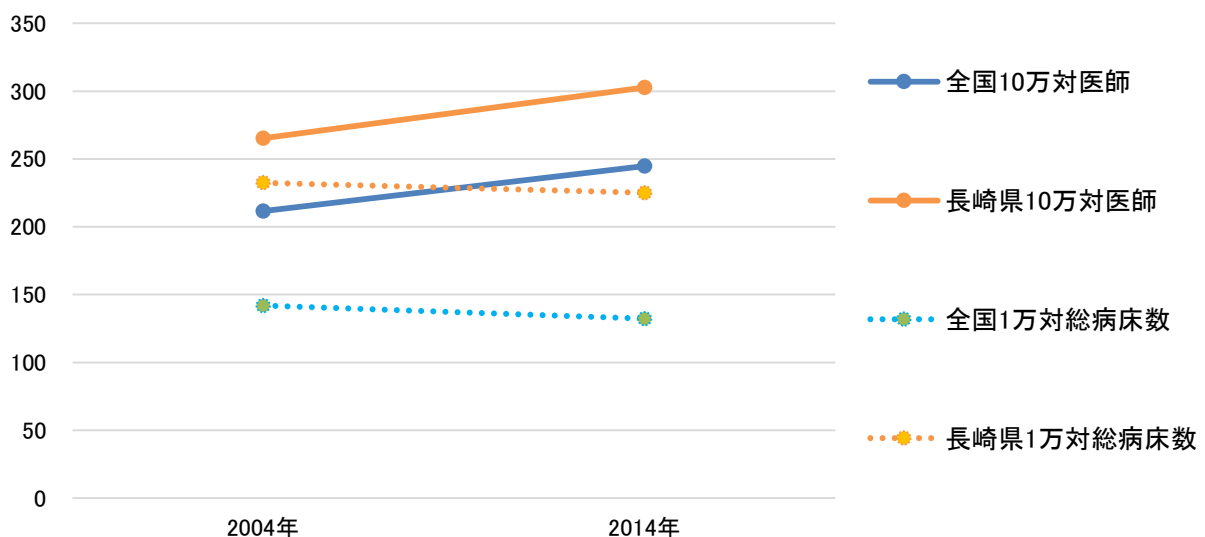
2004年の病院数が169(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に156(人口10万人当たり11.3病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で13病院が減少した。

2004年の診療所数が1450(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に1409(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、41診療所が減少した。

2004年の総病床数が34382床(人口1万人当たり233(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に30990床(人口1万人当たり225(全国平均132)偏差値66)と、3392床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

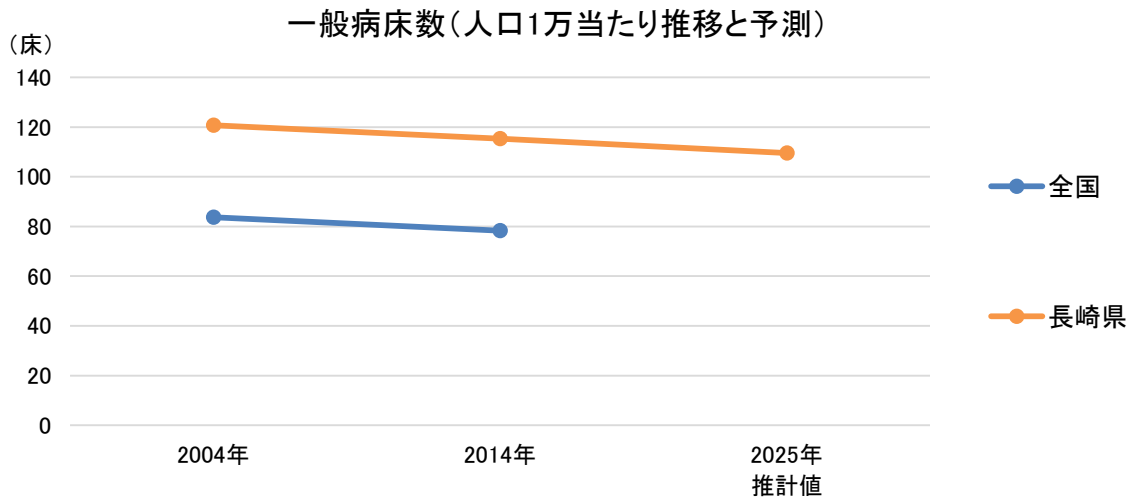
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が3924人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に4170人(人口10万人当たり303人(全国平均245人)偏差値56)と、246人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



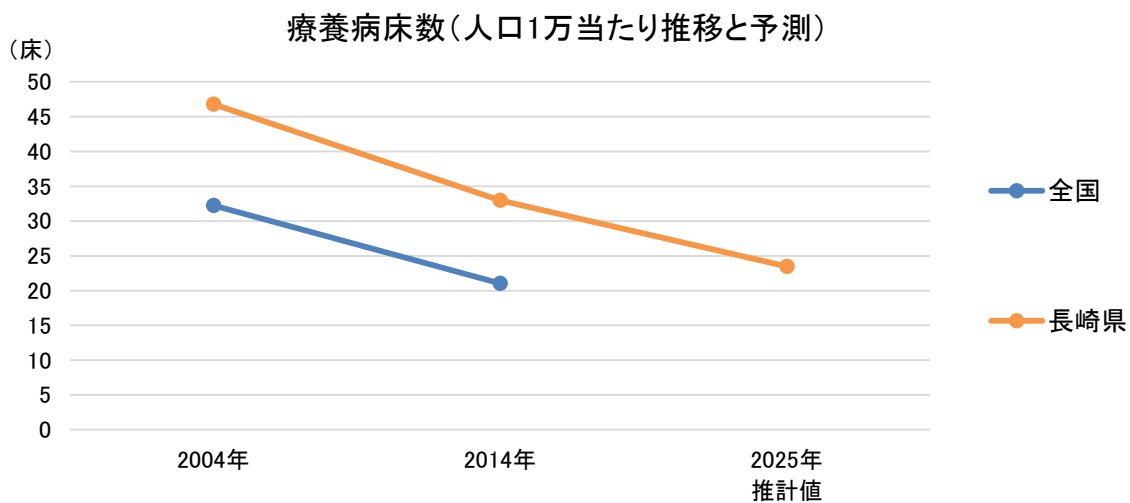
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17860床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に15875床(人口1万人当たり115(全国平均78)偏差値64)と、1985床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には13692床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



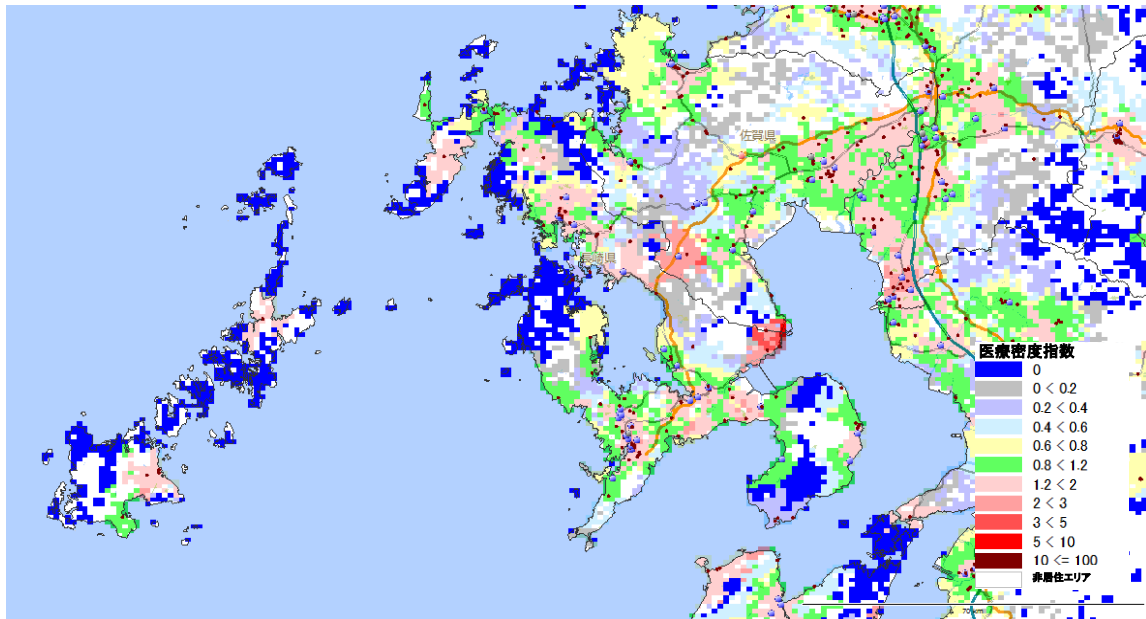
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8000床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に7012床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値60)と、988床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5925床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



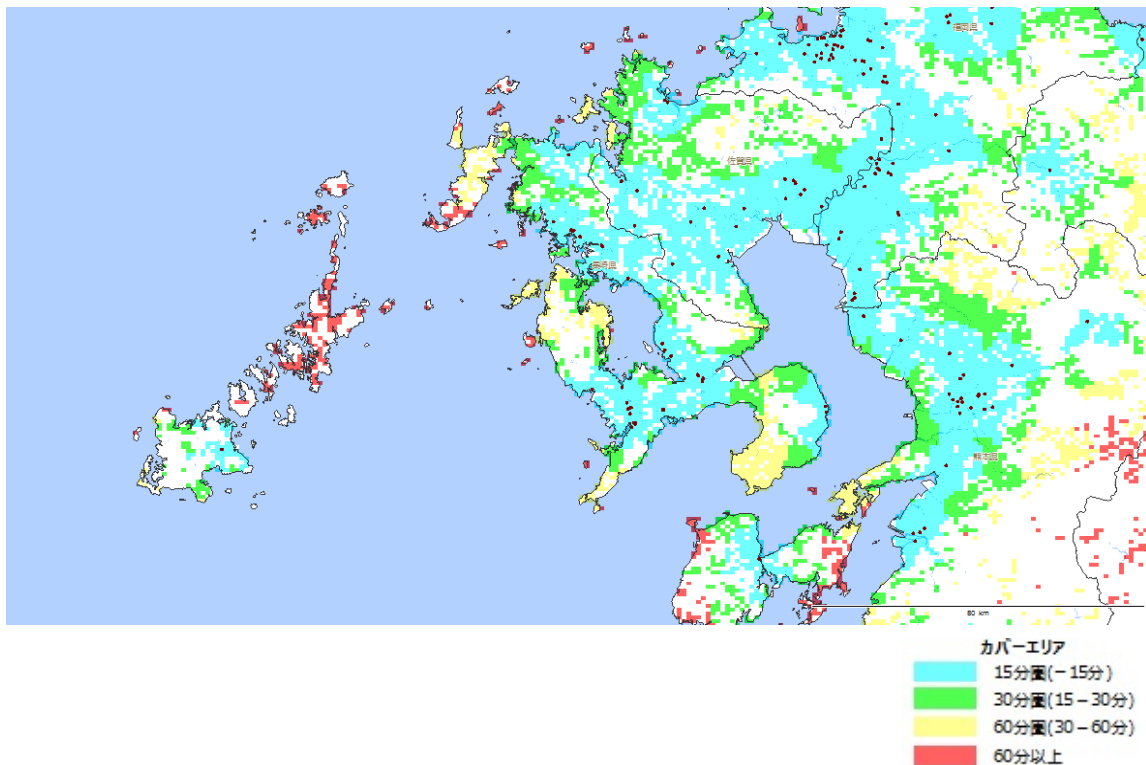
(長崎県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



42.長崎県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
長崎県	1,377	29位	4,132	37位	333.3		29%	1,250	1,049	213	252	260	-9%	-16%	18%	3%
長崎	531	39%	697	17%	761.1	地方都市型	28%	491	418	76	96	102	-8%	-15%	26%	6%
佐世保県北	324	24%	824	20%	393.6	地方都市型	30%	290	241	51	59	57	-10%	-17%	16%	-3%
県央	268	19%	636	15%	421.5	地方都市型	26%	253	225	35	46	51	-6%	-11%	31%	11%
県南	136	10%	467	11%	291.2	地方都市型	34%	119	95	26	28	28	-13%	-20%	8%	0%
五島	37	3%	420	10%	88.9	過疎地域型	37%	31	22	8	8	8	-16%	-29%	0%	0%
上五島	22	2%	239	6%	93.0	過疎地域型	39%	17	12	5	5	4	-23%	-29%	0%	-20%
杵岐	27	2%	139	3%	194.4	過疎地域型	35%	24	19	5	6	5	-11%	-21%	20%	-17%
対馬	31	2%	709	17%	44.4	過疎地域型	34%	25	18	6	6	5	-19%	-28%	0%	-17%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資\_図表 42-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
長崎県	1.12	1.88	19,745	20,530	-4.0%
長崎	1.34	2.15	6,247	7,816	-25.1%
佐世保県北	1.14	1.60	5,748	4,800	16.5%
県央	1.07	2.20	2,528	3,706	-46.6%
県南	0.55	0.66	2,834	2,245	20.8%
五島	1.04	1.06	867	653	24.7%
上五島	0.51	2.75	523	388	25.9%
杵岐	0.81	0.82	418	450	-7.6%
対馬	0.84	2.05	580	474	18.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 42-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
長崎県	405	64	1.162	183	68	1.378	198	55	1.037	286	60
長崎	442	72	1.248	195	71	1.441	220	67	1.134	287	60
佐世保県北	392	61	1.117	177	66	1.328	192	52	0.998	287	60
県央	409	65	1.165	197	72	1.473	188	50	0.975	245	48
県南	356	53	1.081	158	59	1.258	177	44	0.981	320	69
五島	355	53	0.990	166	62	1.205	171	41	0.876	352	78
上五島	382	59	1.027	174	65	1.223	185	48	0.909	327	71
壱岐	401	63	1.177	175	65	1.348	207	60	1.112	287	60
対馬	325	46	0.943	146	55	1.106	159	34	0.843	275	56
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資\_図表42-35を参照。

資\_図表 42-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
長崎県	154	1.8%	11.2	61	1,400	1.4%	102	62
長崎	56	36%	10.6	59	652	47%	123	73
佐世保県北	37	24%	11.4	62	276	20%	85	53
県央	31	20%	11.6	62	254	18%	95	58
県南	17	11%	12.5	64	108	8%	79	50
五島	4	3%	10.7	60	41	3%	110	66
上五島	1	1%	4.5	45	22	2%	99	60
壱岐	6	4%	22.1	88	17	1%	63	41
対馬	2	1%	6.4	49	30	2%	95	58
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 42-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
長崎県	1,400	1.4%	102	62	1,123	1.2%	82	55	277	3.5%	20.1	72
長崎	652	47%	123	73	563	50%	106	68	89	32%	16.8	67
佐世保県北	276	20%	85	53	205	18%	63	45	71	26%	21.9	75
県央	254	18%	95	58	187	17%	70	48	67	24%	25.0	79
県南	108	8%	79	50	71	6%	52	39	37	13%	27.2	83
五島	41	3%	110	66	31	3%	83	55	10	4%	26.8	82
上五島	22	2%	99	60	21	2%	94	61	1	0%	4.5	47
壱岐	17	1%	63	41	16	1%	59	42	1	0%	3.7	46
対馬	30	2%	95	58	29	3%	92	60	1	0%	3.2	45
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 42-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
長崎県	26,599	1.7%	1,931	64	4,066	3.8%	295	71	30,665	1.8%	2,227	66
長崎	11,338	43%	2,137	68	1,324	33%	250	66	12,662	41%	2,387	69
佐世保県北	5,832	22%	1,798	61	1,008	25%	311	72	6,840	22%	2,109	64
県央	5,647	21%	2,106	68	1,018	25%	380	79	6,665	22%	2,486	71
県南	2,205	8%	1,620	58	554	14%	407	82	2,759	9%	2,027	63
五島	508	2%	1,361	53	123	3%	330	74	631	2%	1,690	57
上五島	186	1%	835	42	17	0%	76	49	203	1%	911	43
壱岐	548	2%	2,022	66	16	0%	59	47	564	2%	2,081	64
対馬	335	1%	1,065	47	6	0%	19	44	341	1%	1,084	46
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 42-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
長崎県	12,192	1.4%	885	58	6,311	1.9%	458	60	7,919	2.4%	575	64
長崎	4,963	41%	935	60	2,511	40%	473	60	3,820	48%	720	71
佐世保県北	2,704	22%	834	56	1,633	26%	504	62	1,469	19%	453	59
県央	2,660	22%	992	63	1,077	17%	402	57	1,843	23%	687	69
県南	819	7%	602	46	778	12%	572	65	604	8%	444	58
五島	380	3%	1,018	64	54	1%	145	45	60	1%	161	45
上五島	132	1%	593	45	50	1%	224	48	0	0%	0	38
舌岐	252	2%	930	60	208	3%	767	74	78	1%	288	51
対馬	282	2%	896	59	0	0%	0	38	45	1%	143	44
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 42-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
長崎県	1,208	1.6%	88	56	1,374	2.2%	100	57
長崎	643	53%	121	63	589	43%	111	59
佐世保県北	246	20%	76	54	190	14%	59	50
県央	199	16%	74	54	237	17%	88	55
県南	120	10%	88	56	221	16%	162	68
五島	0	0%	0	38	0	0%	0	40
上五島	0	0%	0	38	36	3%	162	68
舌岐	0	0%	0	38	51	4%	188	73
対馬	0	0%	0	38	50	4%	159	68
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資\_図表 42-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
長崎県	7,794	7,002	250	18,632	5,111	6,120	57.8%	52	3.9%	48
長崎	2,436	2,350	0	8,735	2,595	2,511	47.5%	48	0.0%	46
佐世保県北	1,776	1,658	92	4,122	1,053	1,600	61.2%	54	5.4%	48
県央	2,070	1,835	0	3,505	757	1,077	70.8%	58	0.0%	46
県南	404	340	60	1,801	479	718	41.5%	46	7.7%	49
五島	359	285	0	149	95	54	75.0%	59	0.0%	46
上五島	186	132	50	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
壱岐	228	120	48	320	132	160	47.6%	48	23.1%	56
対馬	335	282	0	0	0	0	100.0%	70		
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 42-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
長崎県	28,980	1.0%	2,104	49	12,924	1.3%	938	55
長崎	13,092	45%	2,468	52	4,188	32%	789	49
佐世保県北	8,316	29%	2,564	53	3,576	28%	1,103	61
県央	5,316	18%	1,983	48	3,252	25%	1,213	64
県南	1,500	5%	1,102	39	972	8%	714	47
五島	300	1%	804	36	360	3%	964	56
上五島	132	0%	593	34	144	1%	646	44
壱岐	60	0%	221	31	276	2%	1,018	58
対馬	264	1%	839	37	156	1%	496	39
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
長崎県	4,517	1.3%	328	56	2,826	1.3%	205	56	1,691	1.3%	123	56
長崎	2,281	51%	430	68	1,437	51%	271	66	844	50%	159	68
佐世保県北	840	19%	259	49	521	18%	161	49	318	19%	98	48
県央	851	19%	318	55	544	19%	203	55	307	18%	115	54
県南	300	7%	221	44	171	6%	125	43	130	8%	95	48
五島	83	2%	222	44	45	2%	121	43	38	2%	101	49
上五島	44	1%	196	41	25	1%	111	41	19	1%	84	44
舌岐	63	1%	233	46	47	2%	175	51	16	1%	59	36
対馬	55	1%	175	39	36	1%	115	42	19	1%	60	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
長崎県	206	1.3%	15.0	54	150	1.2%	10.9	52	136	1.3%	9.9	54
長崎	118	57%	22.2	65	77	51%	14.5	60	72	53%	13.6	64
佐世保県北	28	14%	8.6	44	23	15%	7.1	44	23	17%	7.1	47
県央	46	22%	17.2	57	42	28%	15.7	63	22	16%	8.2	50
県南	9	4%	6.6	41	4	3%	2.9	35	9	7%	6.6	46
五島	3	1%	8.0	43	2	1%	5.4	40	3	2%	8.0	50
上五島	0	0%	0	31	0	0%	0	28	2	1%	9.0	52
舌岐	2	1%	7.4	42	2	1%	7.4	45	2	1%	7.4	48
対馬	0	0%	0	31	0	0%	0	28	3	2%	9.5	54
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

42.長崎県(2017年版)

資\_図表 42-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
長崎県	75	1.4%	5.4	56	92	1.0%	6.7	48	88	1.2%	6.4	52
長崎	43	57%	8.1	69	52	57%	9.8	58	47	53%	8.9	62
佐世保県北	11	15%	3.4	46	15	16%	4.6	41	17	19%	5.2	48
県央	16	21%	6.0	59	15	16%	5.6	44	19	22%	7.1	55
県南	4	5%	2.9	44	4	4%	2.9	36	2	2%	1.5	33
五島	1	1%	2.7	43	2	2%	5.4	43	2	2%	5.4	48
上五島	0	0%	0	30	1	1%	4.5	41	0	0%	0	27
壱岐	0	0%	0	30	2	2%	7.4	50	0	0%	0	27
対馬	0	0%	0	30	1	1%	3.2	36	1	1%	3.2	39
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
長崎県	134	1.6%	9.7	59	259	1.3%	18.8	54	209	1.4%	15.2	57
長崎	67	50%	12.6	68	139	54%	26.2	65	106	51%	20.0	68
佐世保県北	28	21%	8.6	56	47	18%	14.5	48	36	17%	11.1	48
県央	33	25%	12.3	67	51	20%	19.0	54	44	21%	16.4	60
県南	4	3%	2.9	40	15	6%	11.0	43	14	7%	10.3	46
五島	1	1%	2.7	39	4	2%	10.7	42	2	1%	5.4	35
上五島	0	0%	0	31	2	1%	9.0	40	1	0%	4.5	33
壱岐	1	1%	3.7	42	0	0%	0	27	3	1%	11.1	48
対馬	0	0%	0	31	1	0%	3.2	31	3	1%	9.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
長崎県	70	1.2%	5.1	53	76	1.2%	5.5	52	74	1.4%	5.4	54
長崎	34	49%	6.4	59	34	45%	6.4	56	38	51%	7.2	60
佐世保県北	14	20%	4.3	49	20	26%	6.2	55	13	18%	4.0	49
県央	13	19%	4.8	52	18	24%	6.7	57	16	22%	6.0	56
県南	8	11%	5.9	57	3	4%	2.2	38	5	7%	3.7	48
五島	1	1%	2.7	41	1	1%	2.7	40	1	1%	2.7	45
上五島	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	36
壱岐	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	36
対馬	0	0%	0	28	0	0%	0	28	1	1%	3.2	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
長崎県	79	1.2%	5.7	52	19	1.2%	1.4	52	33	1.0%	2.4	49
長崎	47	59%	8.9	62	10	53%	1.9	57	12	36%	2.3	48
佐世保県北	12	15%	3.7	45	4	21%	1.2	50	7	21%	2.2	47
県央	15	19%	5.6	51	4	21%	1.5	53	10	30%	3.7	57
県南	4	5%	2.9	43	1	5%	0.7	45	2	6%	1.5	43
五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
壱岐	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	3%	3.7	56
対馬	1	1%	3.2	43	0	0%	0	37	1	3%	3.2	53
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

42.長崎県(2017年版)

資\_図表 42-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
長崎県	35	1.8%	2.5	58	24	1.0%	1.7	49
長崎	21	60%	4.0	70	18	75%	3.4	62
佐世保県北	4	11%	1.2	47	2	8%	0.6	40
県央	8	23%	3.0	62	3	13%	1.1	44
県南	2	6%	1.5	49	0	0%	0	36
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
舌岐	0	0%	0	37	1	4%	3.7	64
対馬	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 42-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
長崎県	18,697	1.7%	1,358	67	14,938	1.6%	1,085	65	3,758	1.9%	273	66
長崎	8,027	43%	1,513	72	6,432	43%	1,212	70	1,595	42%	301	70
佐世保県北	4,129	22%	1,273	64	3,325	22%	1,025	63	804	21%	248	63
県央	3,760	20%	1,402	68	3,103	21%	1,157	68	657	17%	245	62
県南	1,658	9%	1,218	62	1,220	8%	897	57	437	12%	321	73
五島	395	2%	1,057	56	256	2%	686	49	139	4%	372	80
上五島	177	1%	794	47	124	1%	555	43	53	1%	239	61
舌岐	269	1%	991	54	234	2%	863	56	35	1%	128	46
対馬	283	2%	900	51	246	2%	780	52	38	1%	119	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			



資\_図表 42-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
長崎県	2,446	1.9%	178	65	2,834	1.0%	206	48
長崎	1,226	50%	231	75	1,407	50%	265	54
佐世保県北	455	19%	140	58	587	21%	181	45
県央	418	17%	156	61	479	17%	179	45
県南	272	11%	200	69	193	7%	142	41
五島	14	1%	38	38	49	2%	131	39
上五島	9	0%	40	39	25	1%	112	37
壱岐	23	1%	85	47	47	2%	173	44
対馬	28	1%	88	48	47	2%	149	41
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 42-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
長崎県	298	2.2%	1.4	63	23	1.9%	0.1	55	124	1.2%	0.6	47
長崎	145	49%	1.9	75	11	48%	0.1	61	59	48%	0.8	56
佐世保県北	42	14%	0.8	50	4	17%	0.1	51	19	15%	0.4	37
県央	78	26%	2.2	82	3	13%	0.1	52	19	15%	0.5	45
県南	25	8%	1.0	53	3	13%	0.1	57	13	10%	0.5	43
五島	2	1%	0.2	37	1	4%	0.1	58	5	4%	0.6	49
上五島	0	0%	0	31	0	0%	0	38	3	2%	0.6	48
壱岐	5	2%	0.9	52	1	4%	0.2	67	3	2%	0.6	45
対馬	1	0%	0.2	35	0	0%	0	38	3	2%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 42-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
長崎県	22,575	1.3%	106	51	12,730	1.3%	60	49	9,845	1.4%	46	53
長崎	7,216	32%	95	45	4,281	34%	56	46	2,935	30%	38	48
佐世保県北	6,571	29%	130	65	3,371	26%	66	54	3,200	33%	63	63
県央	3,158	14%	89	41	1,729	14%	49	40	1,429	15%	40	49
県南	3,150	14%	122	60	1,568	12%	61	49	1,582	16%	61	62
五島	919	4%	115	56	546	4%	68	55	373	4%	47	53
上五島	543	2%	109	53	395	3%	80	65	148	2%	30	42
壱岐	438	2%	81	36	400	3%	74	60	38	0%	7	28
対馬	580	3%	100	48	440	3%	76	61	140	1%	24	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 42-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
長崎県	4,753	1.3%	22	50	6,956	1.2%	33	48	1,021	1.6%	4.8	52
長崎	1,691	36%	22	49	2,305	33%	30	45	285	28%	3.7	49
佐世保県北	1,085	23%	21	48	1,824	26%	36	51	462	45%	9.1	62
県央	680	14%	19	44	954	14%	27	42	95	9%	2.7	47
県南	617	13%	24	52	792	11%	31	46	159	16%	6.1	55
五島	200	4%	25	54	346	5%	43	59	0	0%	0	40
上五島	160	3%	32	67	235	3%	47	63	0	0%	0	40
壱岐	160	3%	29	62	220	3%	40	56	20	2%	3.7	49
対馬	160	3%	28	58	280	4%	48	64	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
全国	230,505		14.3	(10.8)		23,117		1.4	(2.1)		195,525		12.1	(5.8)
長崎県	1,131	0.5%	5.3	42		760	3.3%	3.6	60		4,882	2.5%	23.0	69
長崎	311	27%	4.1	41		100	13%	1.3	49		1,399	29%	18.3	61
佐世保県北	678	60%	13.4	49		430	57%	8.5	83		1,239	25%	24.4	71
県央	18	2%	0.5	37		50	7%	1.4	50		731	15%	20.6	65
県南	124	11%	4.8	41		130	17%	5.0	67		976	20%	37.7	94
五島	0	0%	0	37		0	0%	0	43		321	7%	40.1	99
上五島	0	0%	0	37		0	0%	0	43		108	2%	21.7	67
壱岐	0	0%	0	37		0	0%	0	43		18	0%	3.3	35
対馬	0	0%	0	37		50	7%	8.6	84		90	2%	15.5	56
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの													

資\_図表 42-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(非特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は	
全国	232,953		14.4	(7.2)		15,364		1.0	(1.7)		217,589		13.5	(6.7)	
長崎県	3,072	1.3%	14.5	50		242	1.6%	1.1	51		2,830	1.3%	13.3	50	
長崎	1,125	37%	14.7	50		156	64%	2.0	57		969	34%	12.7	49	
佐世保県北	853	28%	16.8	53		30	12%	0.6	48		823	29%	16.2	54	
県央	630	21%	17.8	55		0	0%	0	44		630	22%	17.8	56	
県南	352	11%	13.6	49		36	15%	1.4	53		316	11%	12.2	48	
五島	52	2%	6.5	39		0	0%	0	44		52	2%	6.5	40	
上五島	40	1%	8.1	41		20	8%	4.0	68		20	1%	4.0	36	
壱岐	20	1%	3.7	35		0	0%	0	44		20	1%	3.7	35	
対馬	0	0%	0	30		0	0%	0	44		0	0%	0	30	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計					平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 42-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
長崎県	2,395	1.4%	11.3	54	1,860	1.6%	8.7	57	535	1.2%	2.5	46
長崎	844	35%	11.1	53	583	31%	7.6	51	260	49%	3.4	56
佐世保県北	630	26%	12.4	59	547	29%	10.8	67	83	15%	1.6	37
県央	311	13%	8.8	44	229	12%	6.5	45	82	15%	2.3	44
県南	374	16%	14.5	68	311	17%	12.0	72	63	12%	2.4	45
五島	79	3%	9.9	48	58	3%	7.3	49	21	4%	2.6	47
上五島	42	2%	8.5	42	35	2%	7.1	49	7	1%	1.4	35
壱岐	66	3%	12.2	58	53	3%	9.7	61	14	3%	2.5	46
対馬	49	2%	8.5	42	43	2%	7.4	50	6	1%	1.0	31
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
長崎県	20,674	1.4%	97	55	17,773	1.4%	84	56	2,901	1.3%	13.6	50
長崎	7,562	37%	99	57	6,088	34%	80	53	1,473	51%	19.3	60
佐世保県北	5,023	24%	99	57	4,532	25%	89	61	491	17%	9.7	43
県央	3,004	15%	85	45	2,552	14%	72	46	452	16%	12.8	48
県南	2,535	12%	98	56	2,378	13%	92	63	157	5%	6.1	36
五島	894	4%	112	67	748	4%	93	65	146	5%	18.2	58
上五島	583	3%	117	72	539	3%	108	78	44	2%	8.9	41
壱岐	563	3%	104	61	464	3%	85	58	100	3%	18.3	58
対馬	512	2%	88	48	474	3%	81	54	38	1%	6.5	37
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
長崎県	13,805	1.3%	65	50	4,307	1.0%	20	44	21,443	1.4%	101	53
長崎	7,788	56%	102	61	2,436	57%	32	53	11,726	55%	154	69
佐世保県北	2,929	21%	58	47	668	16%	13	38	3,794	18%	75	45
県央	1,798	13%	51	45	442	10%	12	37	2,433	11%	69	43
県南	866	6%	33	39	397	9%	15	39	1,790	8%	69	43
五島	276	2%	34	40	140	3%	17	41	677	3%	85	48
上五島	25	0%	5	30	54	1%	11	36	288	1%	58	39
杵岐	114	1%	21	36	126	3%	23	46	394	2%	72	44
対馬	9	0%	2	29	44	1%	8	33	341	2%	59	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
長崎県		1,478,632	1,377,187	-7%	1,250,016	-15%	3%	1%	5%
長崎	地方都市型	560,668	530,551	-5%	491,367	-12%	5%	4%	10%
佐世保県北	地方都市型	348,653	324,294	-7%	289,589	-17%	3%	-1%	1%
県央	地方都市型	272,256	268,091	-2%	252,766	-7%	10%	6%	16%
県南	地方都市型	154,088	136,086	-12%	119,325	-23%	-2%	-3%	-5%
五島	過疎地域型	44,765	37,327	-17%	30,529	-32%	-6%	-7%	-13%
上五島	過疎地域型	28,307	22,278	-21%	17,405	-39%	-9%	-12%	-20%
杵岐	過疎地域型	31,414	27,103	-14%	23,617	-25%	-4%	-7%	-11%
対馬	過疎地域型	38,481	31,457	-18%	25,418	-34%	-5%	-10%	-14%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

## 42.長崎県(2017年版)

資\_図表 42-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
長崎県	169	11.4	61	156	11.3	61	-13	-8%	142
長崎	62	11.1	60	56	10.6	59	-6	-10%	49
佐世保県北	41	11.8	62	38	11.7	62	-3	-7%	35
県央	31	11.4	61	31	11.6	62	0	0%	31
県南	17	11.0	60	17	12.5	64	0	0%	17
五島	5	11.2	61	4	10.7	60	-1	-20%	3
上五島	3	10.6	59	1	4.5	45	-2	-67%	-1
壱岐	7	22.3	89	6	22.1	87	-1	-14%	5
対馬	3	7.8	52	3	9.5	57	0	0%	3
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 42-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
長崎県	1,450	98	61	1,409	102	62	-41	-3%	1,364
長崎	676	121	72	655	123	74	-21	-3%	632
佐世保県北	303	87	55	278	86	54	-25	-8%	251
県央	251	92	58	255	95	59	4	2%	259
県南	105	68	46	109	80	51	4	4%	113
五島	45	101	62	42	113	68	-3	-7%	39
上五島	22	78	51	23	103	63	1	5%	24
壱岐	15	48	36	17	63	41	2	13%	19
対馬	33	86	55	30	95	59	-3	-9%	27
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 42-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
長崎県	3,924	265	56	4,170	303	56	246	6%	4,442
長崎	1,964	350	67	2,159	407	67	195	10%	2,374
佐世保県北	777	223	51	743	229	48	-34	-4%	706
県央	717	263	56	817	305	56	100	14%	927
県南	249	162	44	243	179	43	-6	-2%	236
五島	80	179	46	79	212	46	-1	-1%	78
上五島	37	131	40	33	148	40	-4	-11%	29
壱岐	43	137	41	42	155	40	-1	-2%	41
対馬	57	148	42	54	172	42	-3	-5%	51
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 42-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
長崎県	34,382	233	66	30,990	225	66	-3,392	-10%	27,259
長崎	14,176	253	70	12,667	239	69	-1,509	-11%	11,007
佐世保県北	7,567	217	63	7,031	217	65	-536	-7%	6,441
県央	7,275	267	72	6,667	249	71	-608	-8%	5,998
県南	3,030	197	60	2,776	204	63	-254	-8%	2,497
五島	840	188	58	678	182	59	-162	-19%	500
上五島	351	124	47	203	91	43	-148	-42%	40
壱岐	647	206	61	564	208	63	-83	-13%	473
対馬	496	129	48	404	128	49	-92	-19%	303
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 42-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
長崎県	17,860	121	63	15,875	115	64	-1,985	-11%	13,692	110
長崎	7,101	127	65	6,156	116	64	-945	-13%	5,117	104
佐世保県北	3,904	112	60	3,635	112	62	-269	-7%	3,339	115
県央	3,798	140	70	3,524	131	70	-274	-7%	3,223	128
県南	1,415	92	53	1,297	95	56	-118	-8%	1,167	98
五島	659	147	73	550	147	75	-109	-17%	430	141
上五島	291	103	57	143	64	45	-148	-51%	-20	-11
壱岐	290	92	53	260	96	56	-30	-10%	227	96
対馬	402	104	57	310	99	57	-92	-23%	209	82
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 42-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
長崎県	8,000	47	58	7,012	33	60	-988	-12%	5,925	23
長崎	3,001	50	60	2,647	35	62	-354	-12%	2,258	24
佐世保県北	2,095	50	60	1,898	37	64	-197	-9%	1,681	29
県央	1,460	55	63	1,233	35	62	-227	-16%	983	22
県南	991	45	57	871	34	61	-120	-12%	739	27
五島	107	15	40	54	7	38	-53	-50%	-4	0
上五島	56	13	39	56	11	42	0	0%	56	12
壱岐	253	52	61	216	40	66	-37	-15%	175	32
対馬	37	8	36	37	6	38	0	0%	37	6
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									



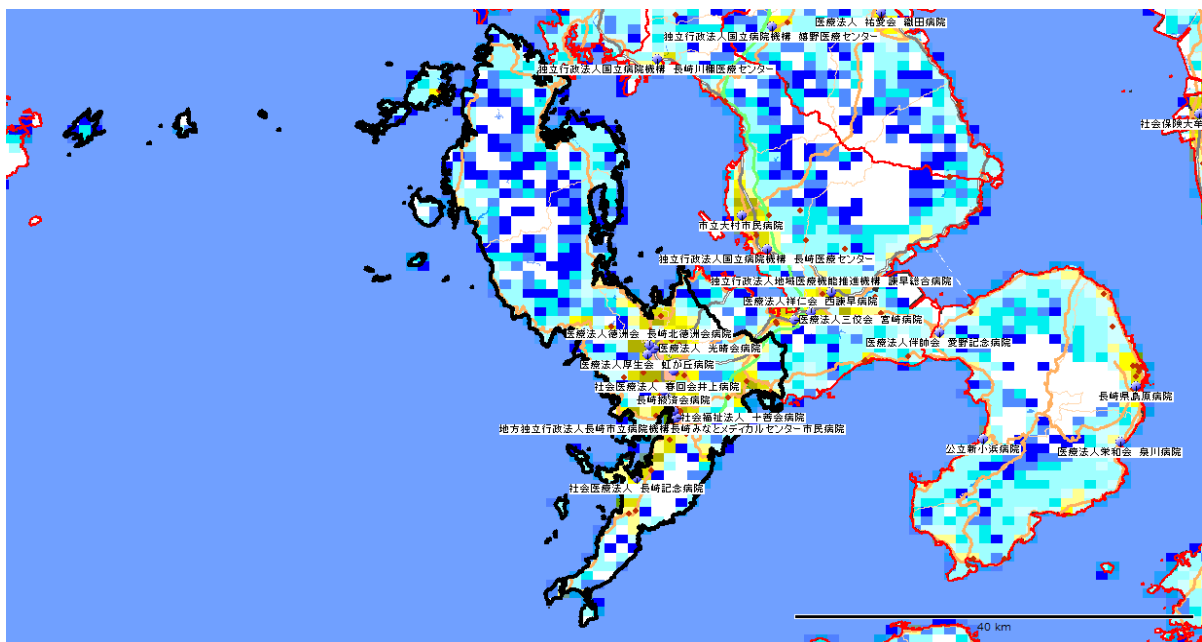
資\_図表 42-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
長崎県	1,090	63	1.168	606	65	1.306	453	53	1.040
長崎	1,295	79	1.403	727	77	1.580	530	72	1.230
佐世保県北	968	53	1.048	523	56	1.132	417	44	0.971
県央	1,049	59	1.135	599	64	1.303	419	45	0.969
県南	1,008	56	1.084	577	62	1.237	406	41	0.941
五島	833	42	0.900	429	47	0.924	385	36	0.898
上五島	776	37	0.843	372	41	0.812	382	36	0.888
壱岐	954	52	1.024	546	59	1.167	390	38	0.902
対馬	810	40	0.877	422	46	0.928	371	33	0.848
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# ながさき 42-1. 長崎医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [長崎市](#) [西海市](#) [長与町](#) [時津町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (長崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長崎(長崎市)は、総人口約531千人(2015年)、面積697km<sup>2</sup>、人口密度は761人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 長崎の総人口は2025年に491千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に418千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の76千人が、2025年にかけて96千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には102千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長崎の一人当たり医療費(国保)は442千円(偏差値72)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長崎の一人当たり急性期医療密度指数2は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数2は2.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が68(病院医師数66、診療所医師数68)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。長崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長崎大学病院(I群・救命)、1000例以上の長崎みなとメディカルセンター市民病院(III群)、済生会長崎病院(III群)、長崎原爆病院(III群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は71で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は73で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7216人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4281床(偏差値46)、高齢者住宅等が2935床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6088人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム41、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値75と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、1473人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (長崎医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

長崎医療圏の総人口は、2005年560668人が、2015年に530551人と5%減少し、2025年の人口が491367人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

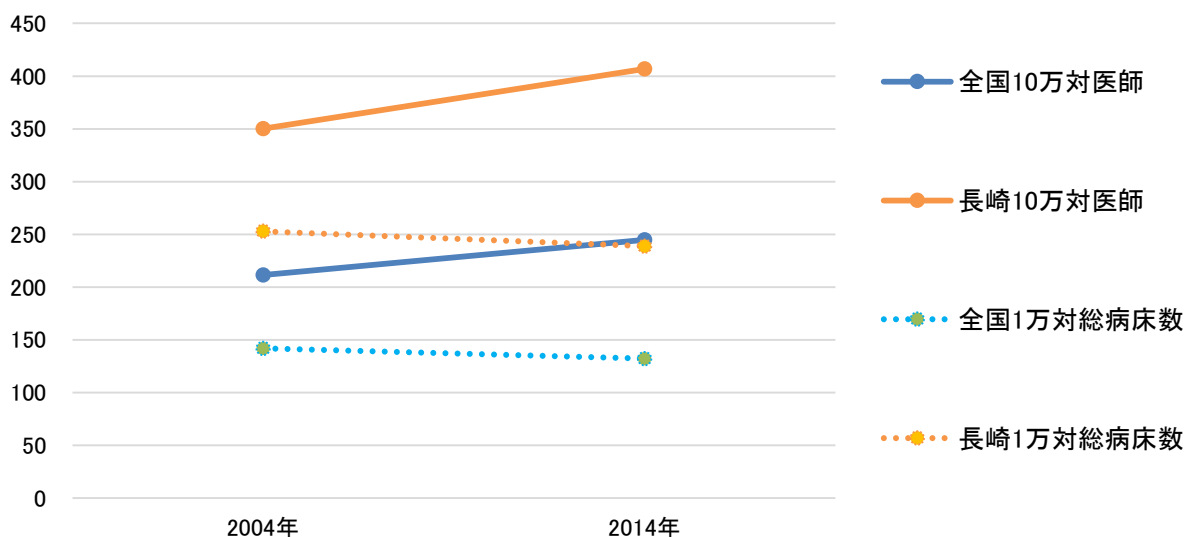
2004年の病院数が62(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に56(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が676(人口10万人当たり121診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2014年に655(人口10万人当たり123診療所(全国平均79)偏差値74)と、21診療所が減少した。

2004年の総病床数が14176床(人口1万人当たり253(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に12667床(人口1万人当たり239(全国平均132)偏差値69)と、1509床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

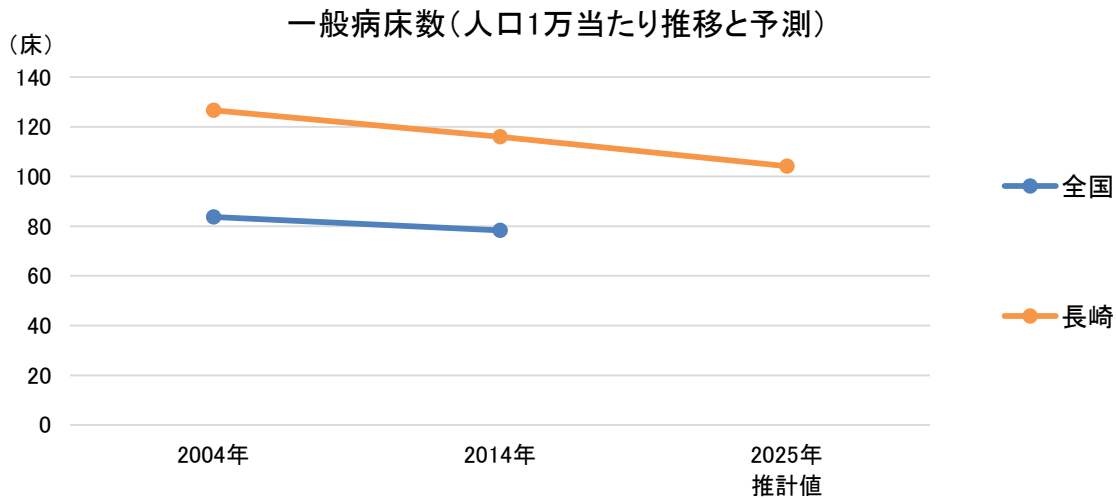
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1964人(人口10万人当たり350人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に2159人(人口10万人当たり407人(全国平均245人)偏差値67)と、195人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



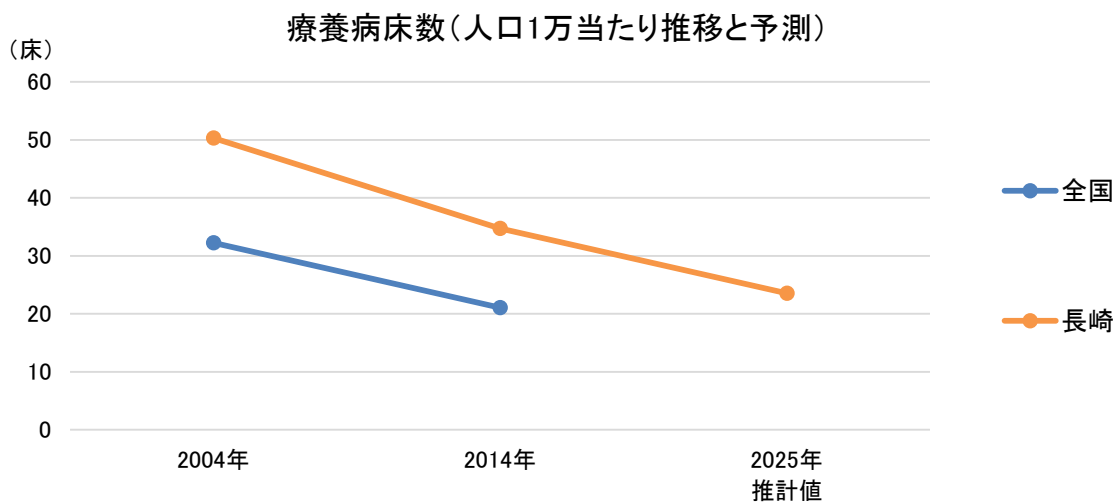
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7101床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に6156床(人口1万人当たり116(全国平均78)偏差値64)と、945床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5117床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



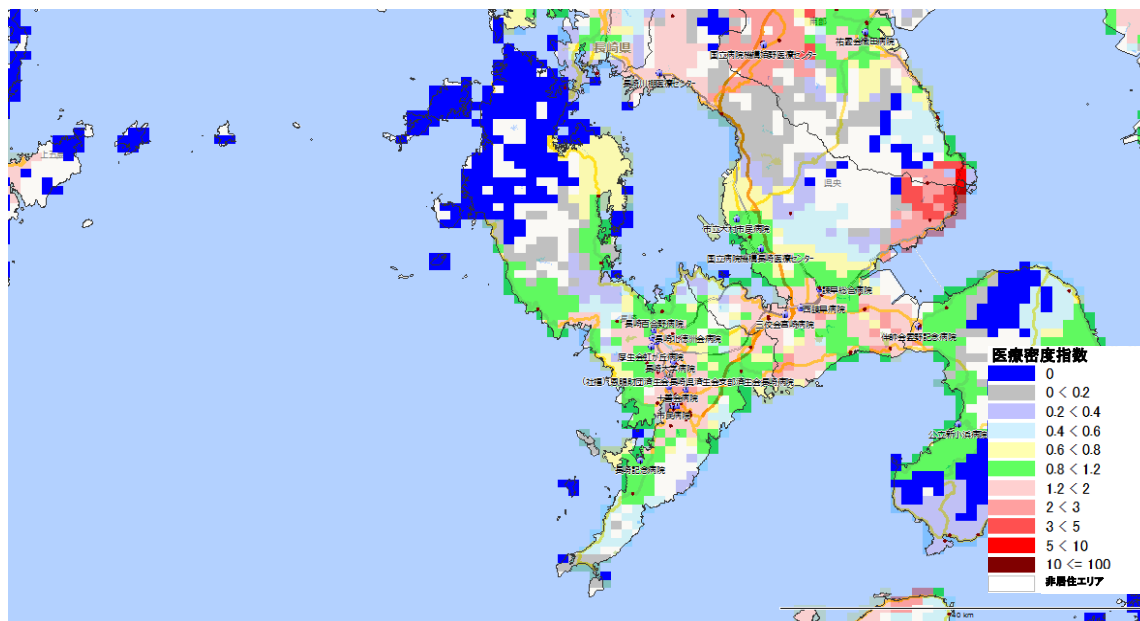
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3001床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に2647床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、354床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2258床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



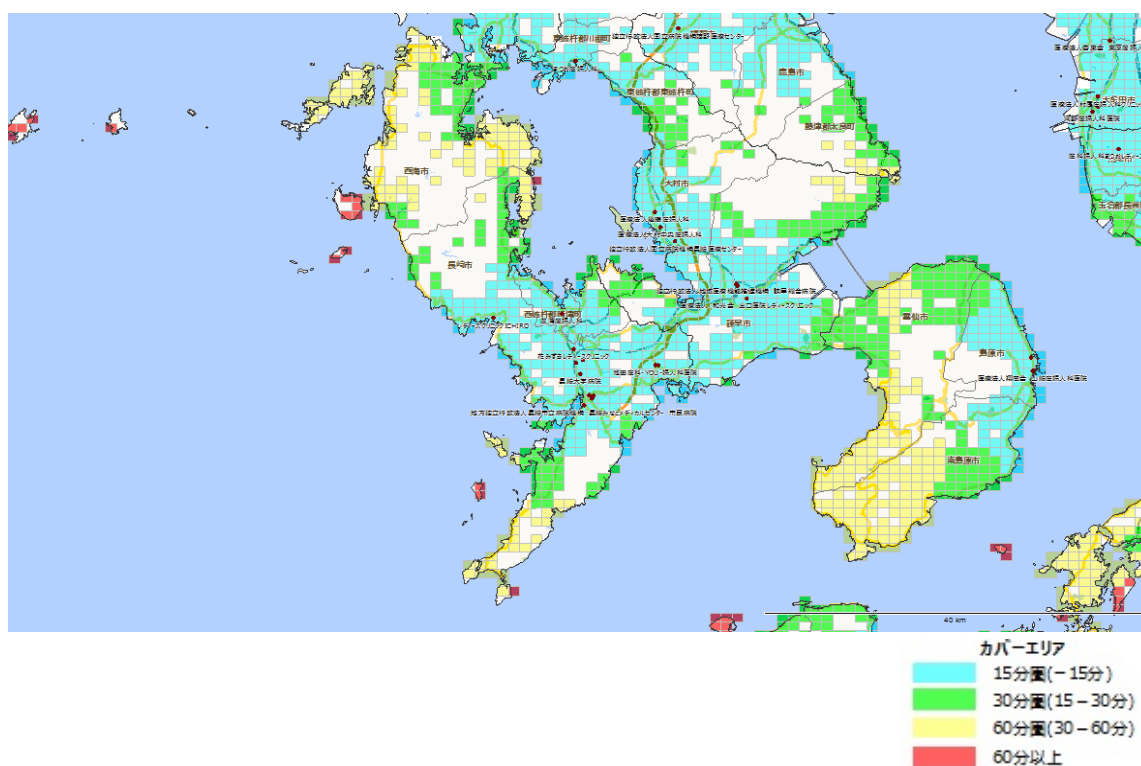
(長崎医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

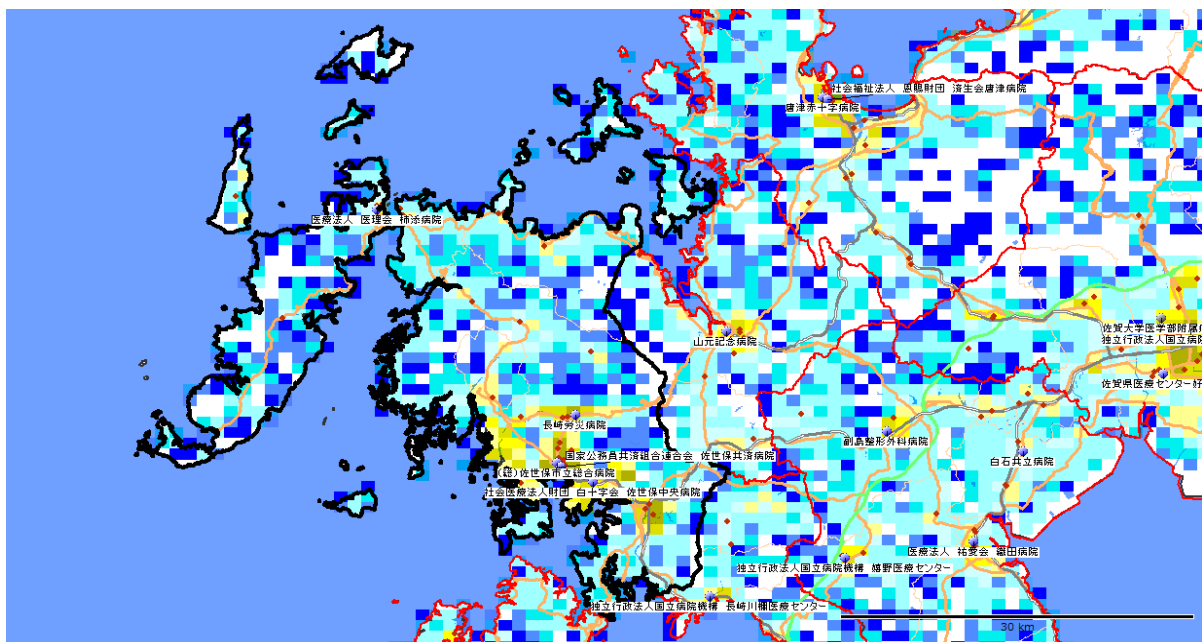
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 42-2. さ せ ぼ け ん ぼ く 佐世保県北医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [佐世保市](#) [平戸市](#) [松浦市](#) [佐々町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (佐世保県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 佐世保県北(佐世保市)は、総人口約324千人(2015年)、面積824km<sup>2</sup>、人口密度は394人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 佐世保県北の総人口は2025年に290千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に241千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には57千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 佐世保県北の一人当たり医療費(国保)は392千円(偏差値61)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 佐世保県北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.6で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。佐世保県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の佐世保市立総合病院(Ⅲ群・救命)、佐世保共済病院(Ⅲ群)、長崎労災病院(Ⅲ群)、500例以上の佐世保中央病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 佐世保県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6571人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3371床(偏差値54)、高齢者住宅等が3200床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4532人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム49、軽費ホーム83、グループホーム71、サ高住53である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、491人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。



## (佐世保県北医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

佐世保県北医療圏の総人口は、2005年348653人が、2015年に324294人と7%減少し、2025年の人口が289589人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

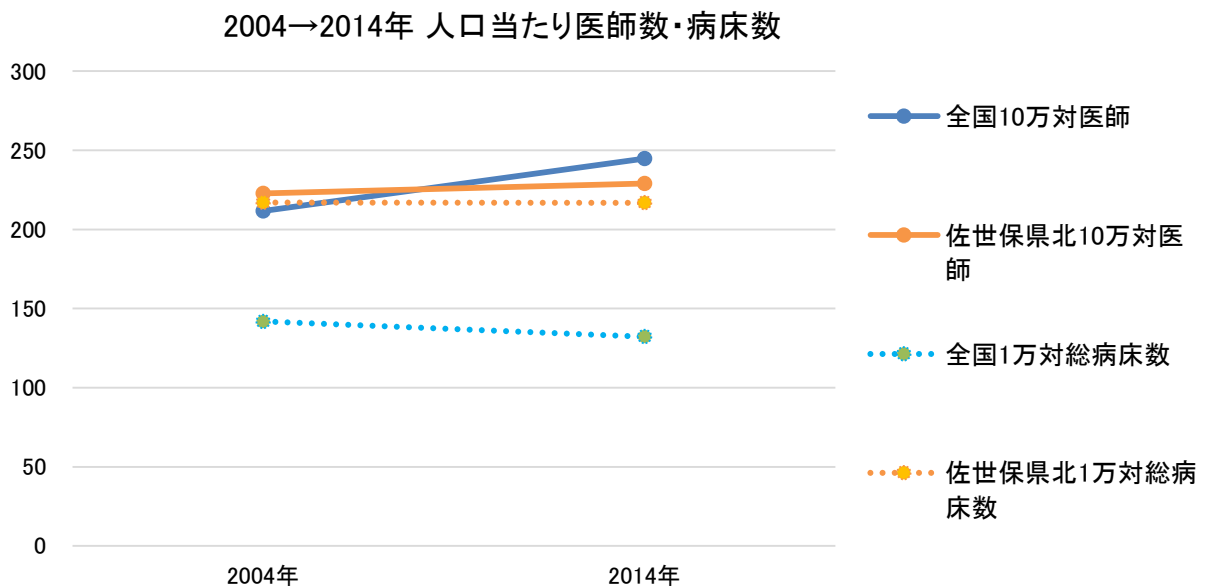
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に38(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が303(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に278(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値54)と、25診療所が減少した。

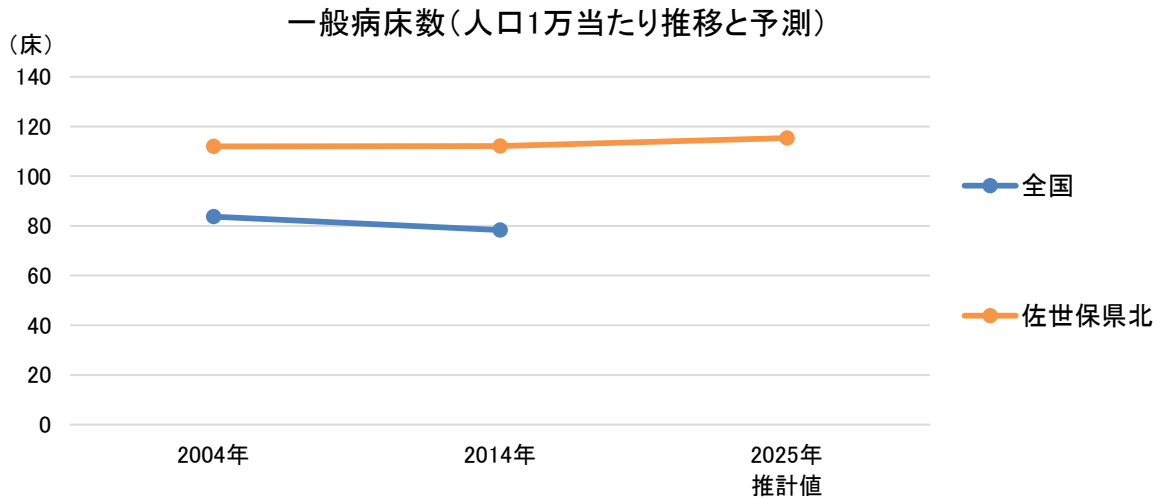
2004年の総病床数が7567床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に7031床(人口1万人当たり217(全国平均132)偏差値65)と、536床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が777人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に743人(人口10万人当たり229人(全国平均245人)偏差値48)と、34人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



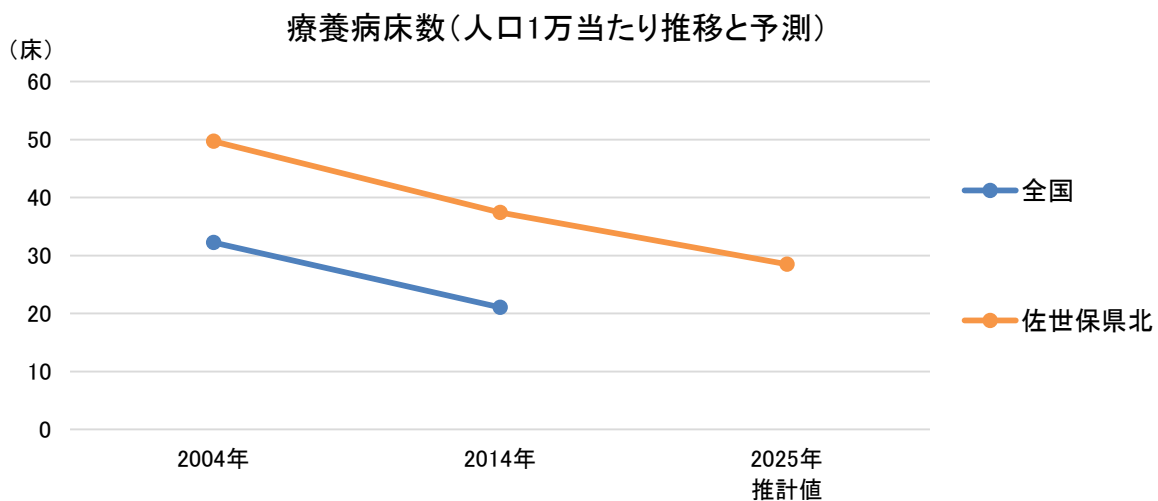
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が3904床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に3635床(人口1万人当たり112(全国平均78)偏差値62)と、269床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3339床(2025年の推計人口1万人当たり115)になることが予想される。



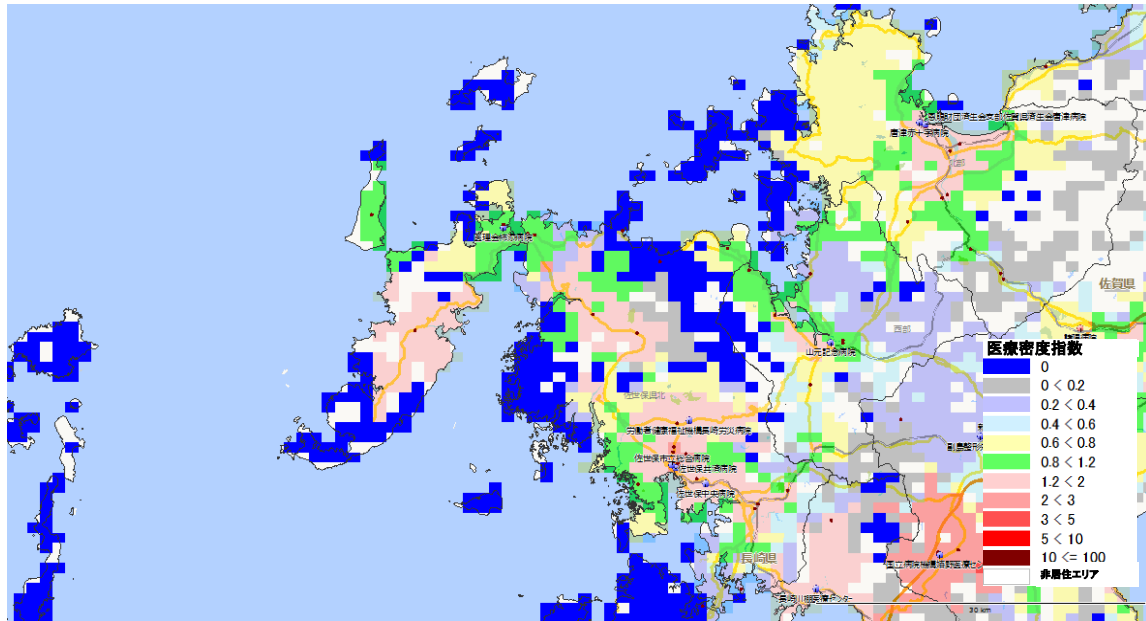
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が2095床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1898床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、197床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1681床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。



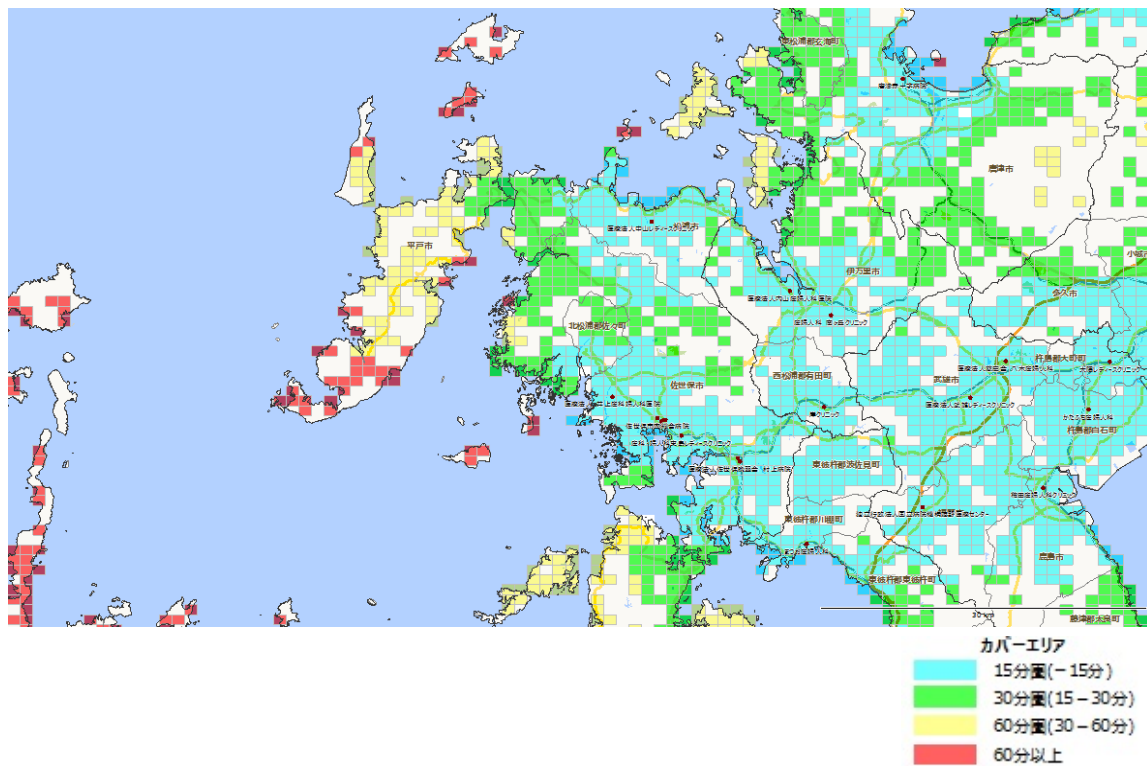
(佐世保県北医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

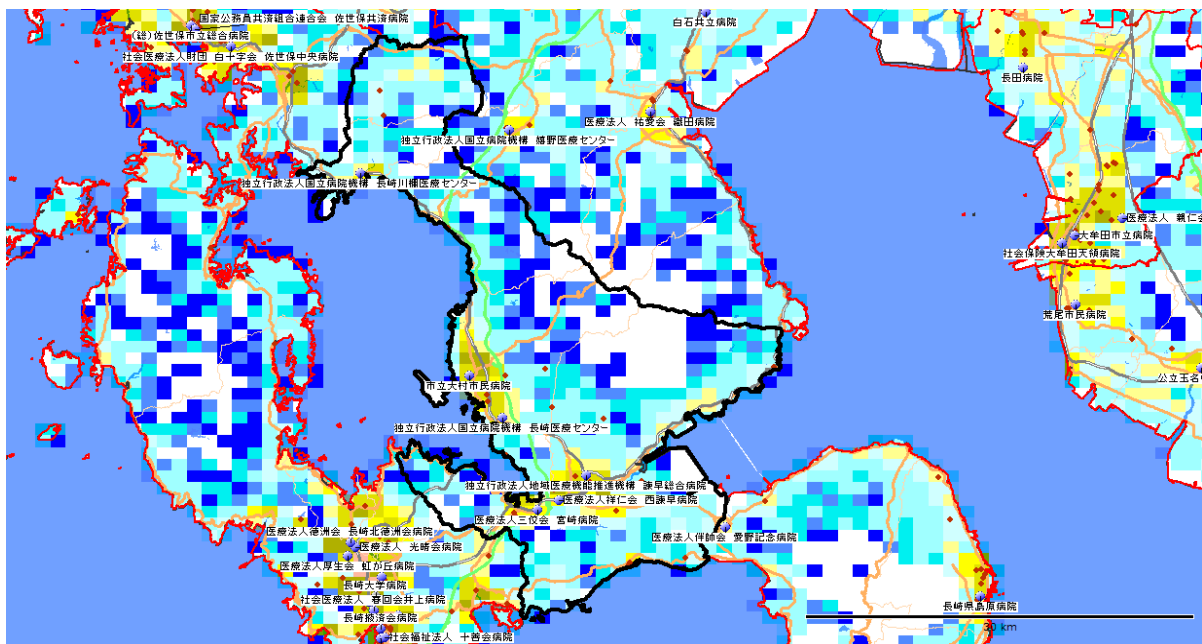
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 42-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [諫早市](#) [大村市](#) [東彼杵町](#) [川棚町](#)  
[波佐見町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(諫早市)は、総人口約268千人(2015年)、面積636km<sup>2</sup>、人口密度は421人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に253千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に225千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には51千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値65)、介護給付費は245千円(偏差値48)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が55(病院医師数55、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構長崎医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上のJCHO諫早総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3158人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1729床(偏差値40)、高齢者住宅等が1429床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2552人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム37、軽費ホーム50、グループホーム65、サ高住55である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値82と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、452人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-47%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (県央医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年272256人が、2015年に268091人と2%減少し、2025年の人口が252766人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

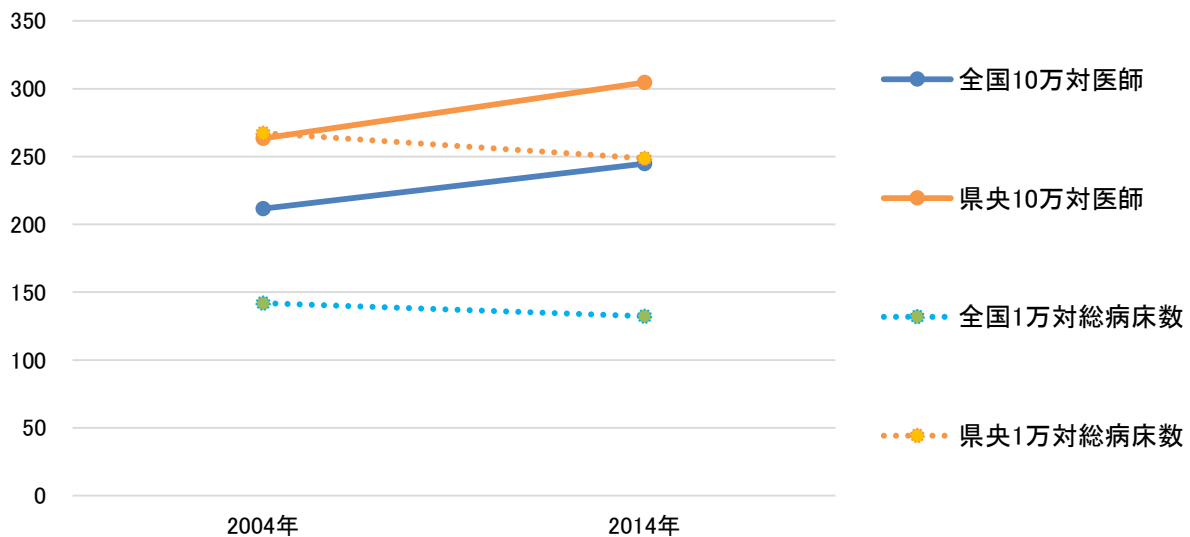
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に31(人口10万人当たり11.6病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に255(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値59)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が7275床(人口1万人当たり267(全国平均142)偏差値72)であったが、2014年に6667床(人口1万人当たり249(全国平均132)偏差値71)と、608床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

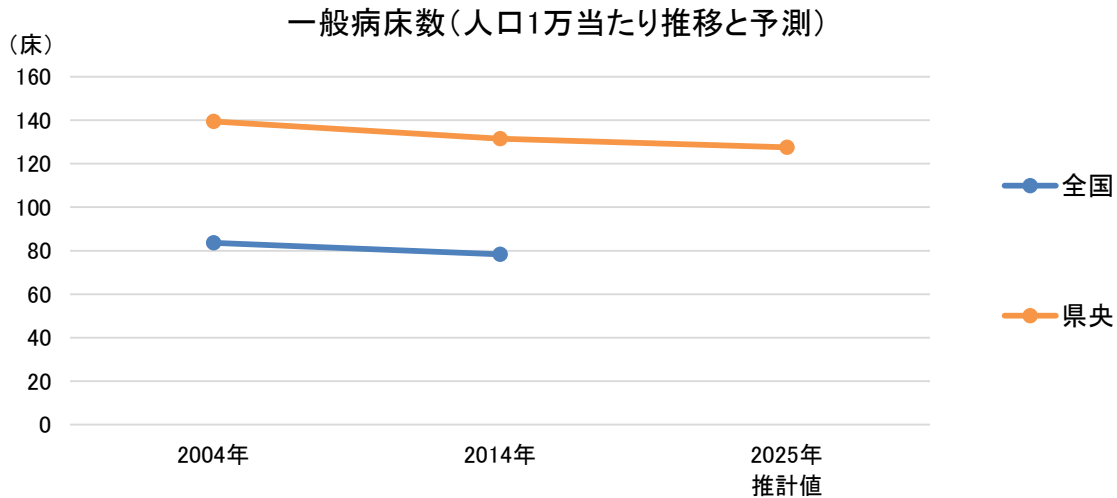
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が717人(人口10万人当たり263人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に817人(人口10万人当たり305人(全国平均245人)偏差値56)と、100人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



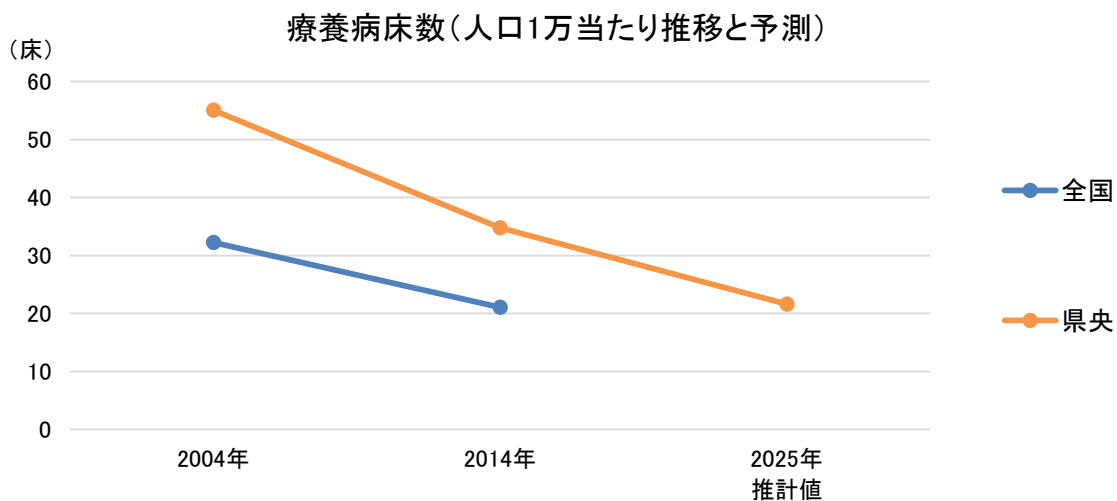
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3798床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3524床(人口1万人当たり131(全国平均78)偏差値70)と、274床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3223床(2025年の推計人口1万人当たり128)になることが予想される。



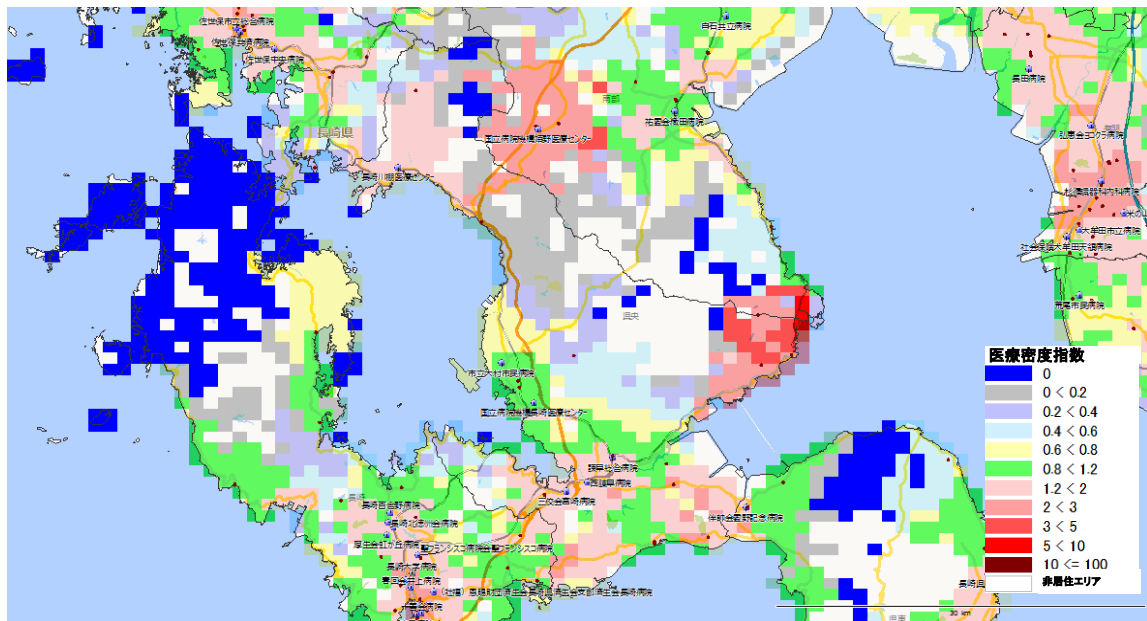
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1460床(75歳以上1000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に1233床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、227床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には983床(2025年の推計75歳以上1000人当たり22)になることが予想される。



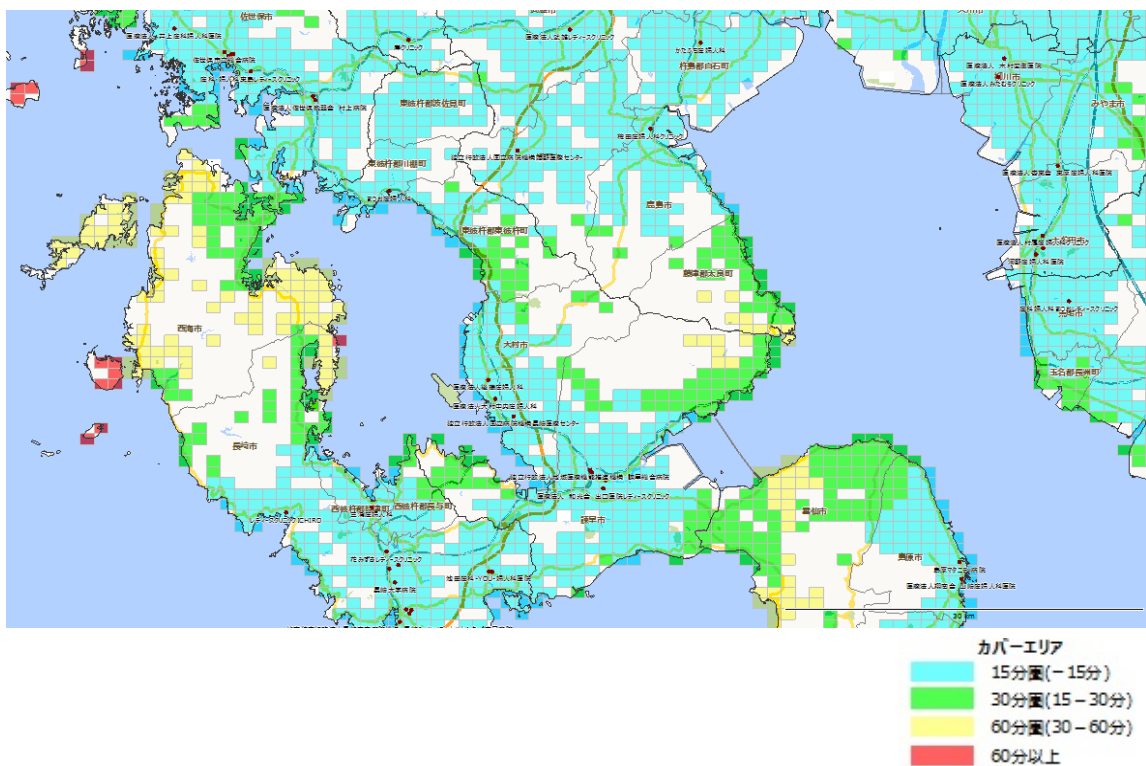
(県央医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

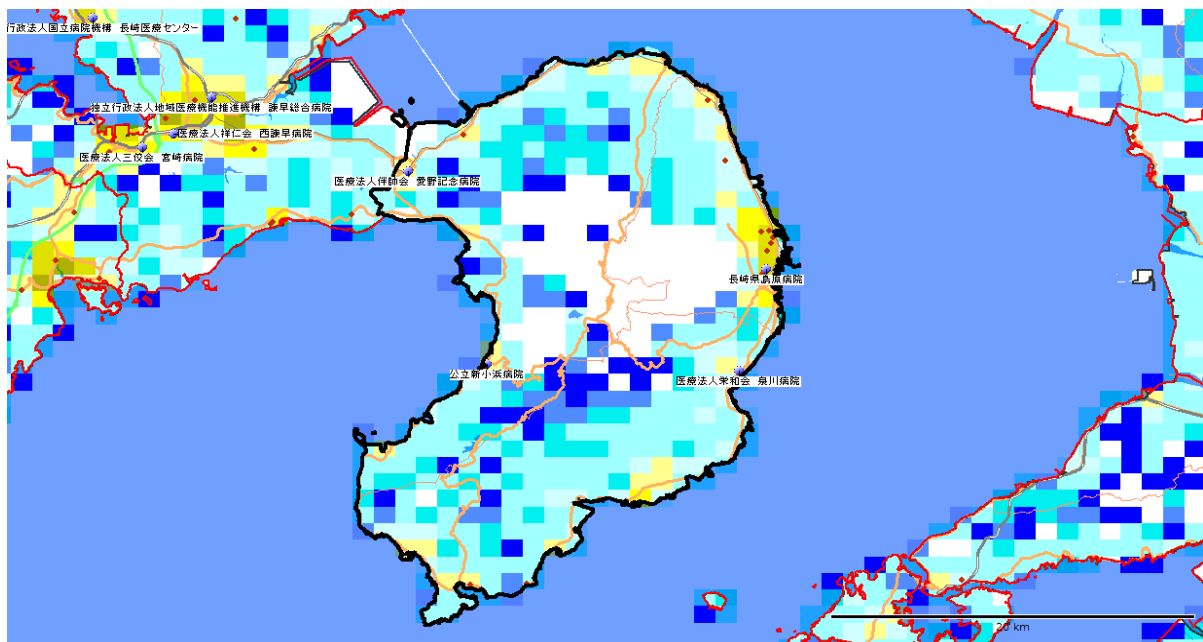




# 42-4. けんなん 県南医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [島原市](#) [雲仙市](#) [南島原市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

## (県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県南(島原市)は、総人口約136千人(2015年)、面積467km<sup>2</sup>、人口密度は291人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に119千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に95千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には28千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値53)、介護給付費は320千円(偏差値69)であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.55、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3150人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1568床(偏差値49)、高齢者住宅等が1582床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2378人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム41、軽費ホーム67、グループホーム94、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、157人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

## (県南医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年154088人が、2015年に136086人と12%減少し、2025年の人口が119325人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

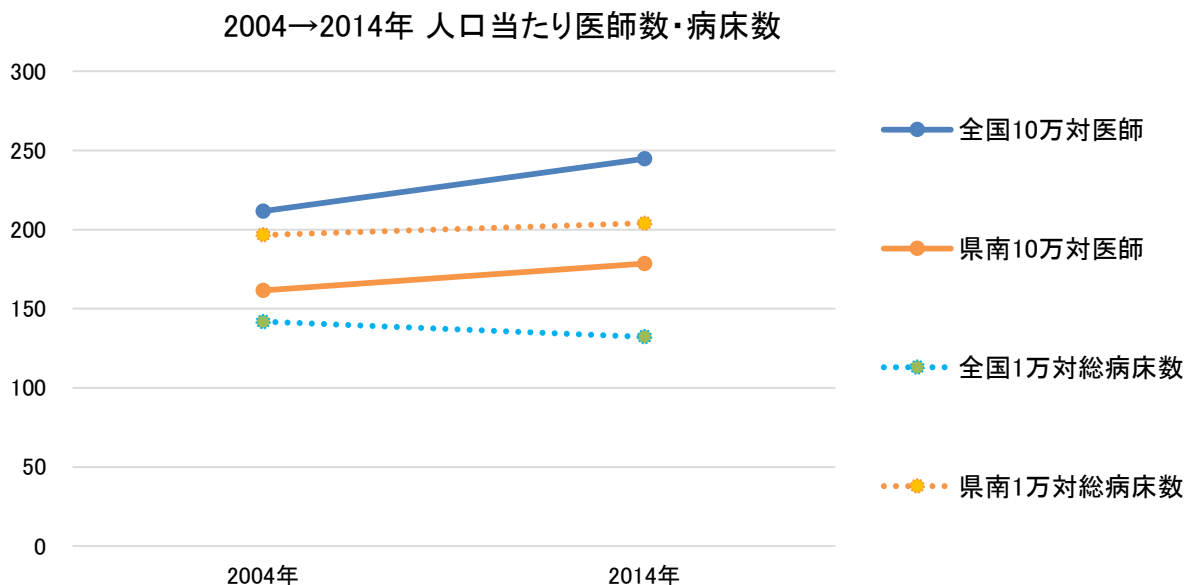
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が17(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に17(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.7)偏差値64)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が105(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に109(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値51)と、4診療所が増加した。

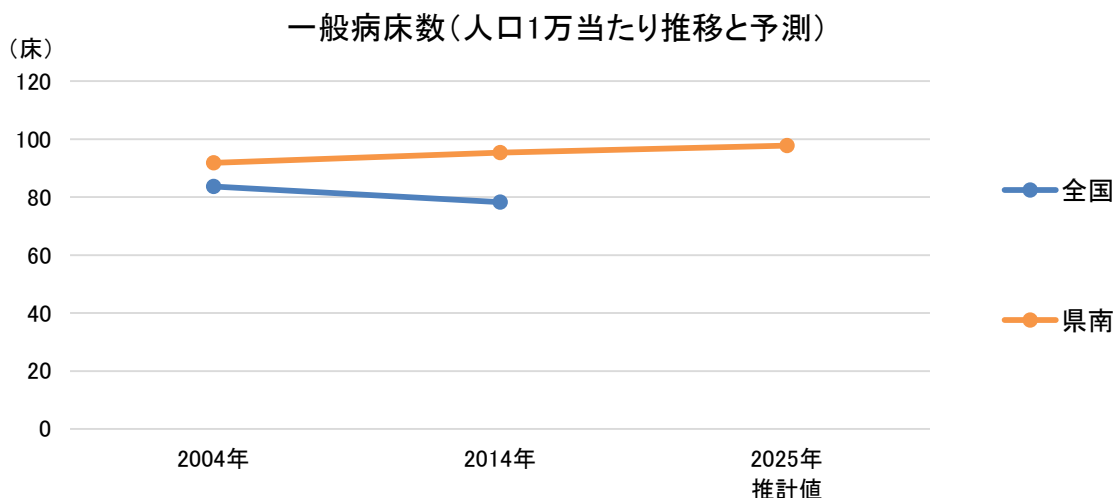
2004年の総病床数が3030床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に2776床(人口1万人当たり204(全国平均132)偏差値63)と、254床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が249人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に243人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、6人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



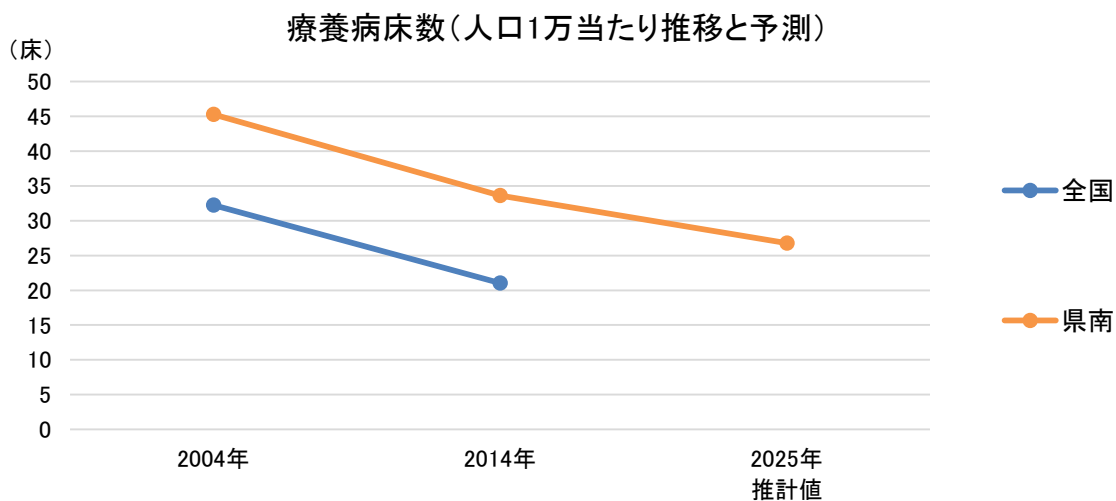
## 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1415床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に1297床(人口1万人当たり95(全国平均78)偏差値56)と、118床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1167床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



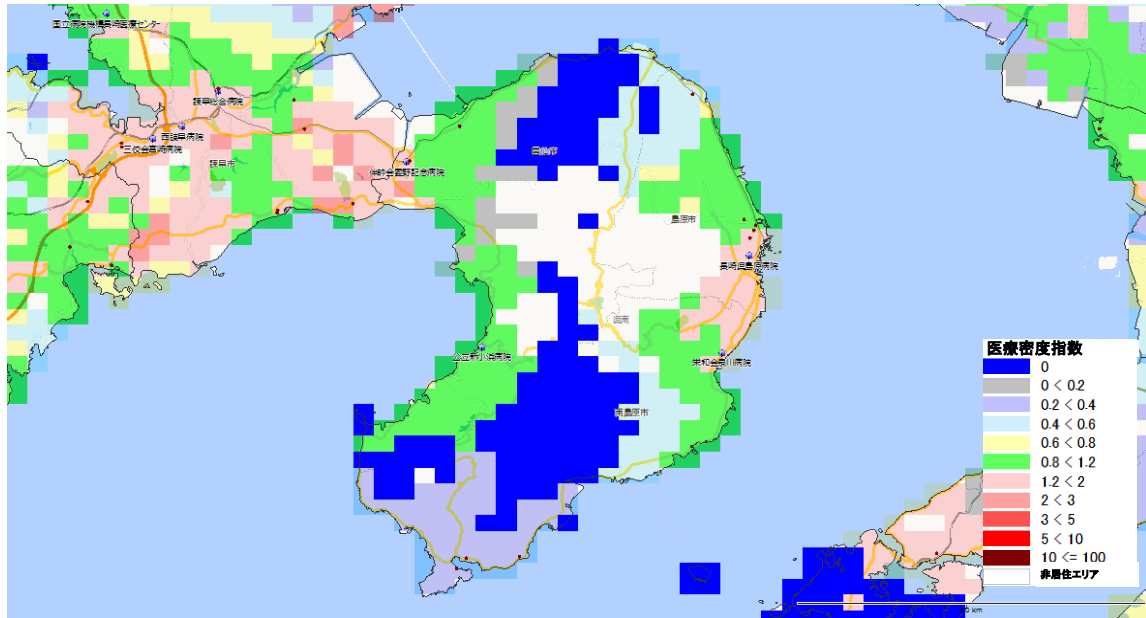
## 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が991床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に871床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、120床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には739床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。



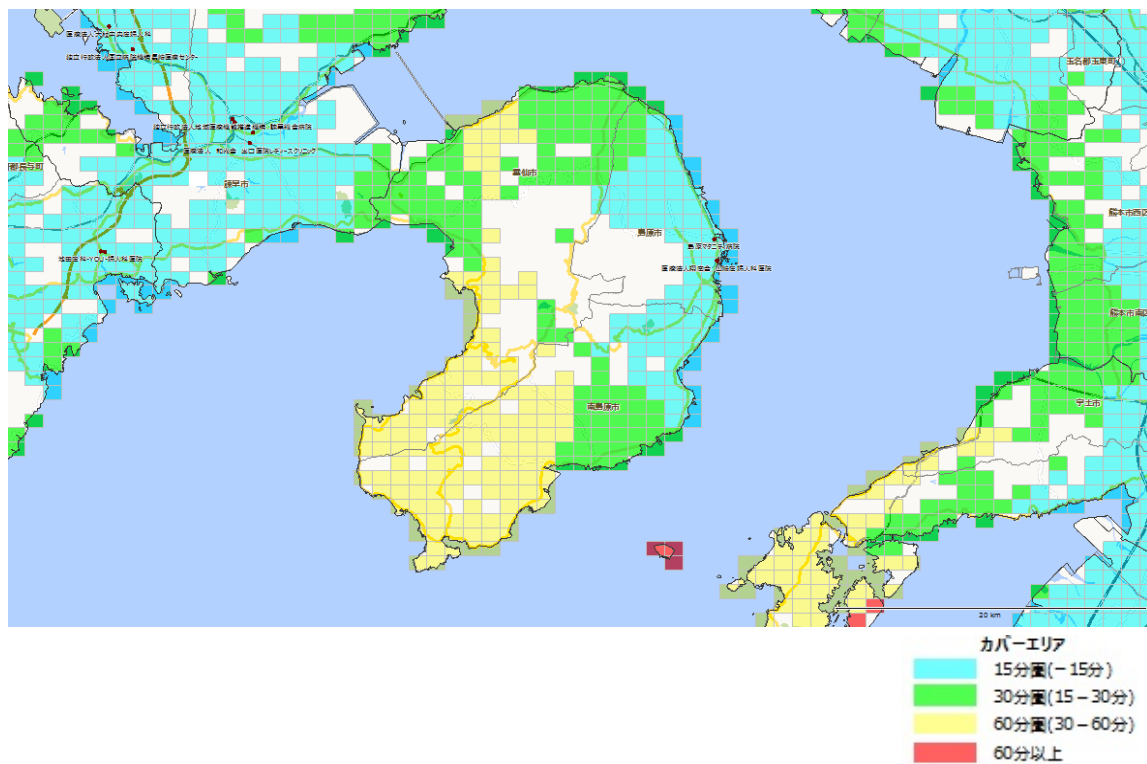
(県南医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

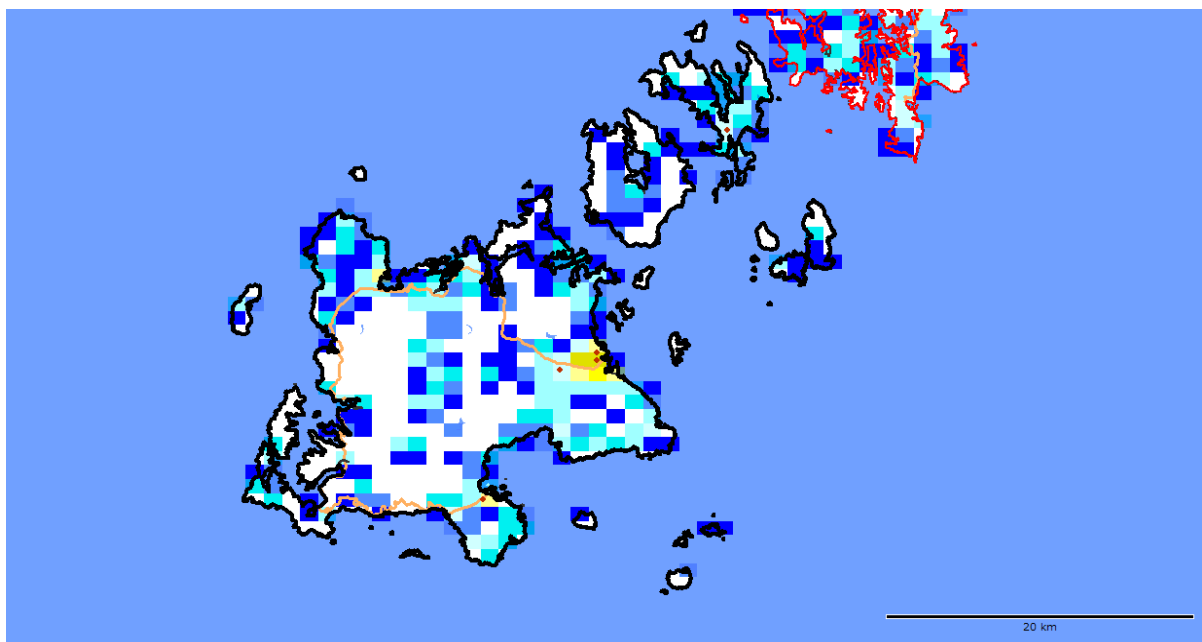
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 42-5. ごとう 五島医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [五島市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 五島(五島市)は、総人口約37千人(2015年)、面積420km<sup>2</sup>、人口密度は89人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 五島の総人口は2025年に31千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に22千人へと減少する(2025年比-29%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 五島の一人当たり医療費(国保)は355千円(偏差値53)、介護給付費は352千円(偏差値78)であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 五島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値38と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、919人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が546床(偏差値55)、高齢者住宅等が373床(偏差値53)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、748人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム99、サ高住39である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、146人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (五島医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

五島医療圏の総人口は、2005年44765人が、2015年に37327人と17%減少し、2025年の人口が30529人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

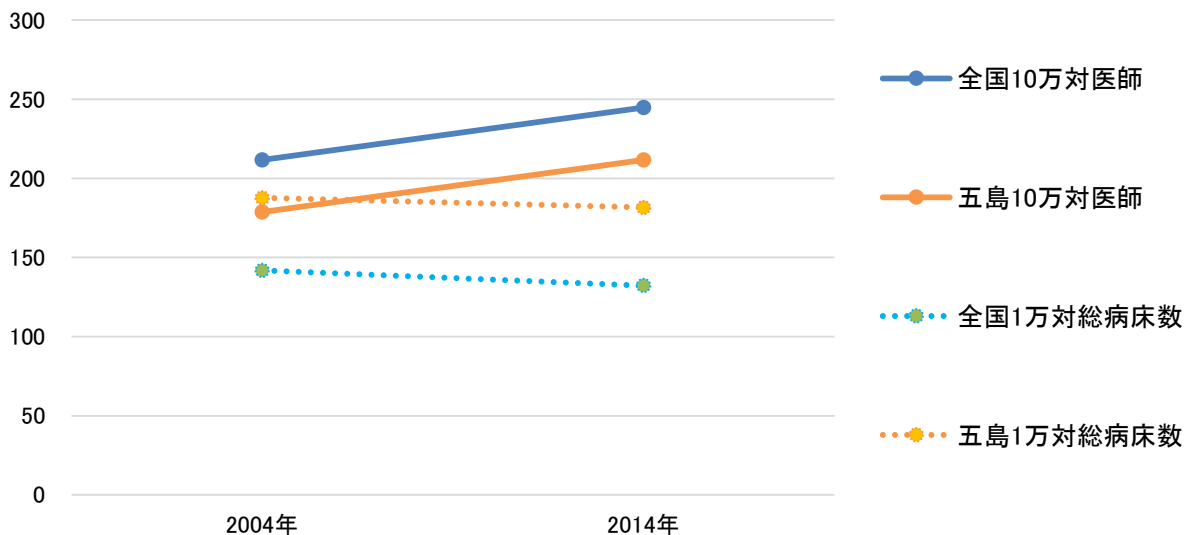
2004年の病院数が5(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に4(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に42(人口10万人当たり113診療所(全国平均79)偏差値68)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が840床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に678床(人口1万人当たり182(全国平均132)偏差値59)と、162床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が80人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に79人(人口10万人当たり212人(全国平均245人)偏差値46)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

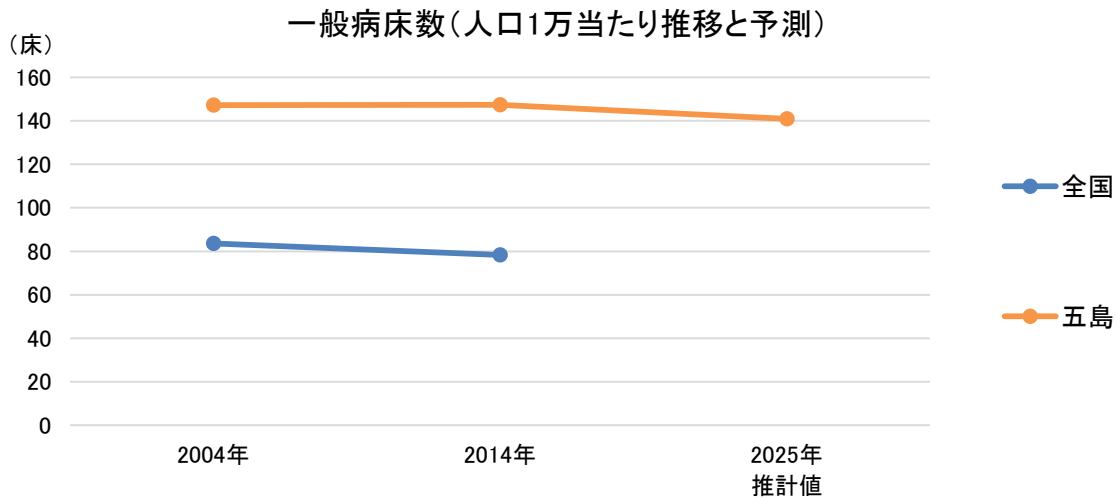
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





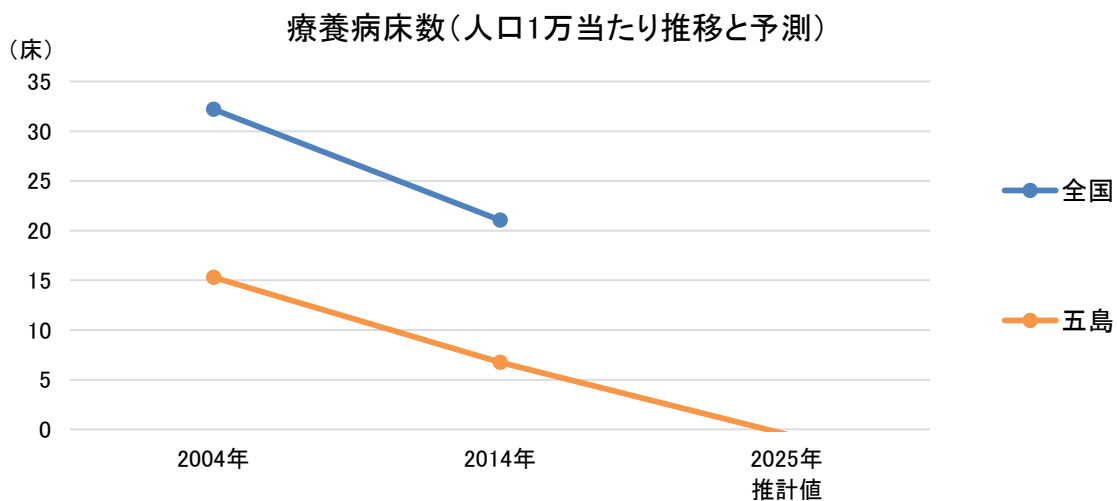
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が659床(人口1万人当たり147(全国平均84)偏差値73)であったが、2014年に550床(人口1万人当たり147(全国平均78)偏差値75)と、109床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には430床(2025年の推計人口1万人当たり141)になることが予想される。



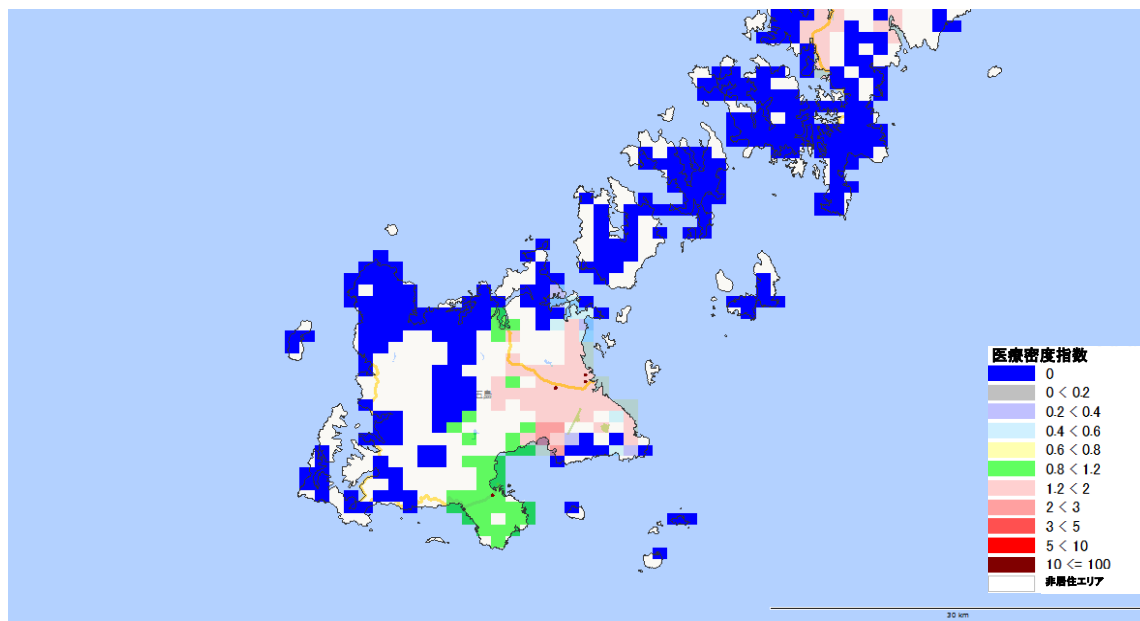
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が107床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に54床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、53床の減少、率にして50%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-4床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。



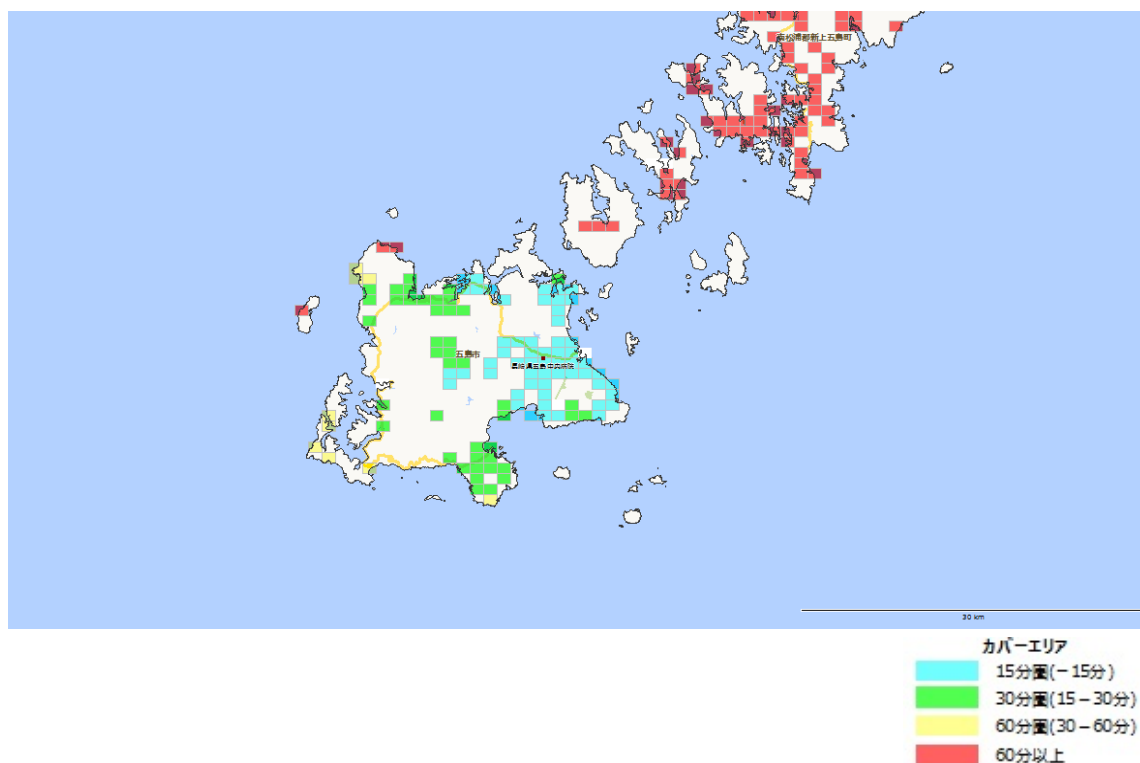
(五島医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

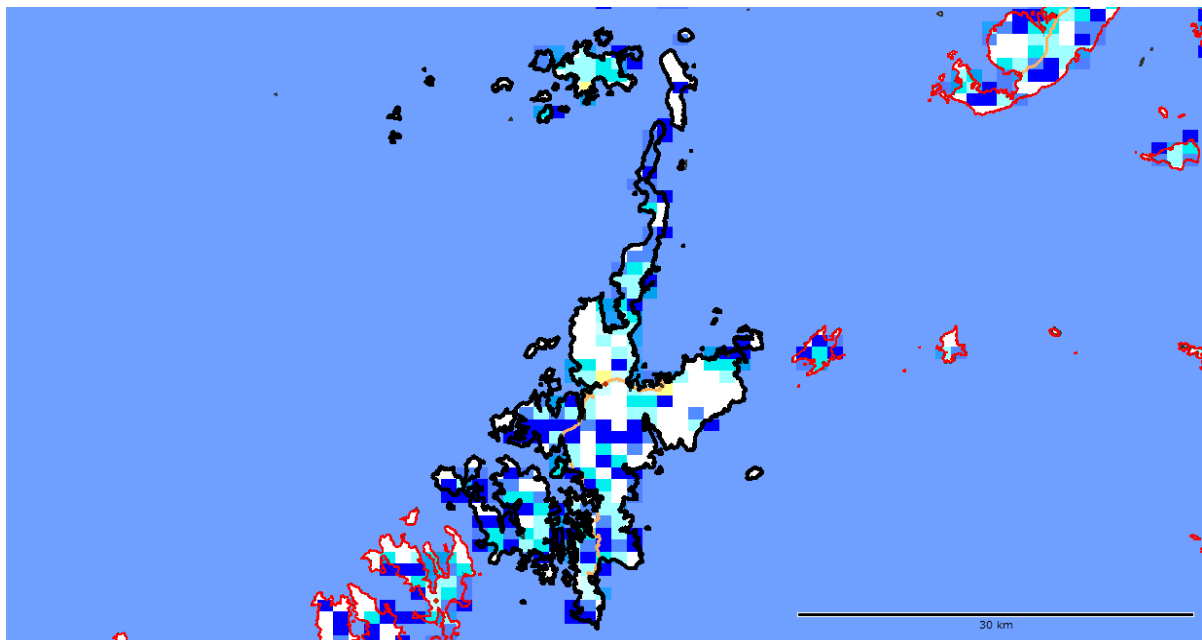
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 42-6. かみごとう 上五島医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [小値賀町](#) [新上五島町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (上五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 上五島(北松浦郡小値賀町、南松浦郡新上五島町)は、総人口約22千人(2015年)、面積239km<sup>2</sup>、人口密度は93人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 上五島の総人口は2025年に17千人へと減少し(2015年比-23%)、2040年に12千人へと減少する(2025年比-29%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 上五島の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は327千円(偏差値71)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 上五島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.51、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.75で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。上五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 上五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、543人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が395床(偏差値65)、高齢者住宅等が148床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、539人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム67、サ高住41である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、44人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (上五島医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

上五島医療圏の総人口は、2005年28307人が、2015年に22278人と21%減少し、2025年の人口が17405人と予測され、2005年→2025年の間に39%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%減少し、2015年から2025年にかけて12%程度の減少が予測される。

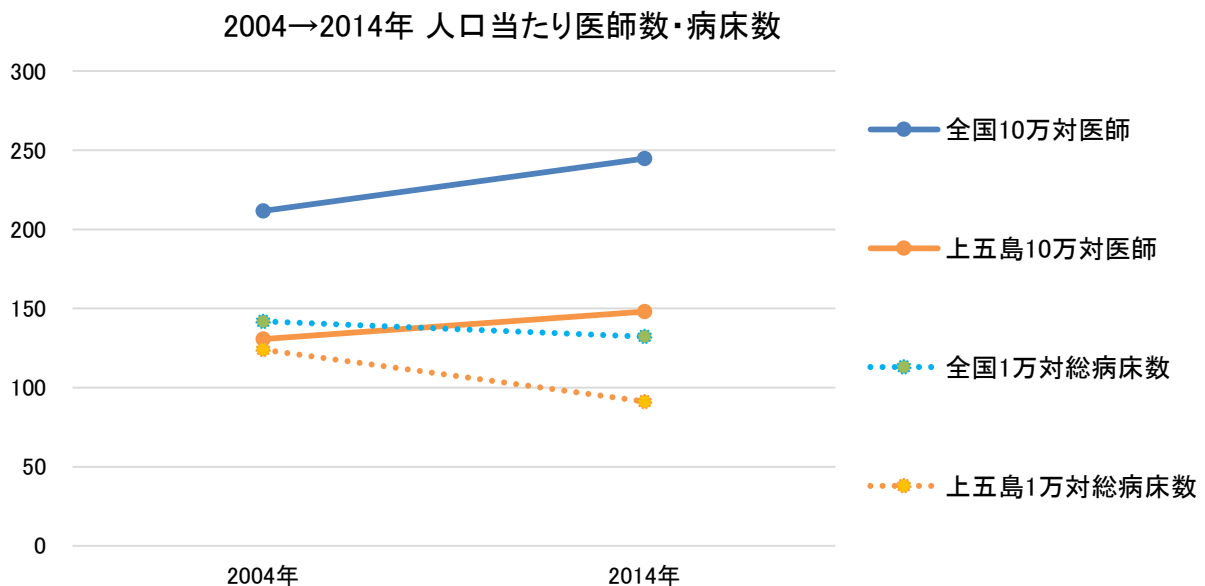
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が3(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に1(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が22(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に23(人口10万人当たり103診療所(全国平均79)偏差値63)と、1診療所が増加した。

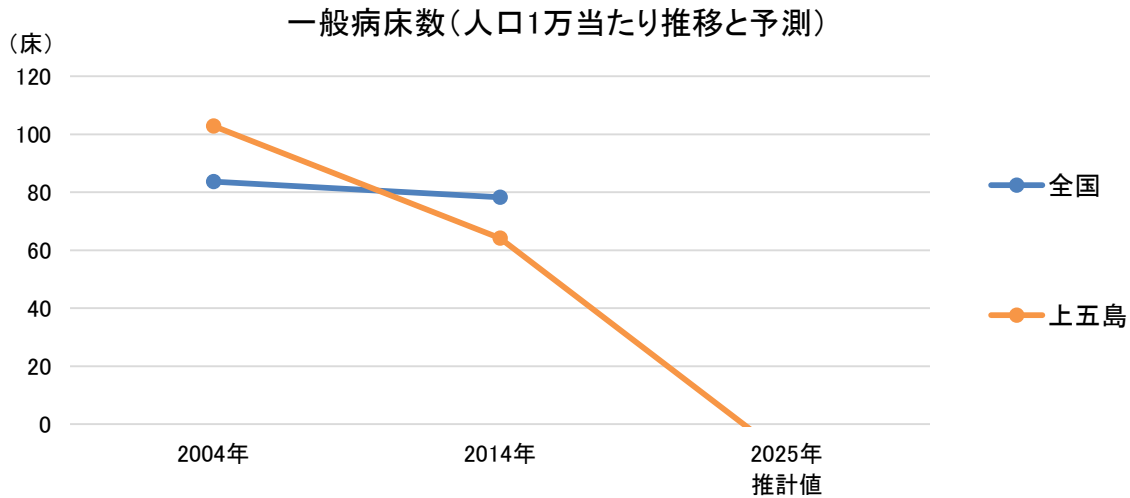
2004年の総病床数が351床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に203床(人口1万人当たり91(全国平均132)偏差値43)と、148床の減少、率にして42%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が37人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に33人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値40)と、4人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



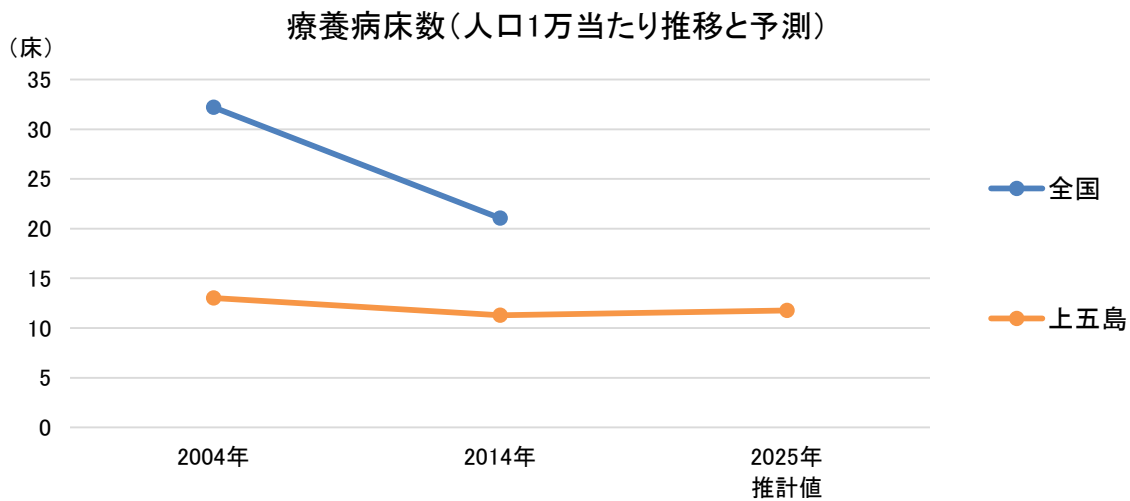
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が291床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に143床(人口1万人当たり64(全国平均78)偏差値45)と、148床の減少、率にして51%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-20床(2025年の推計人口1万人当たり-11)になることが予想される。



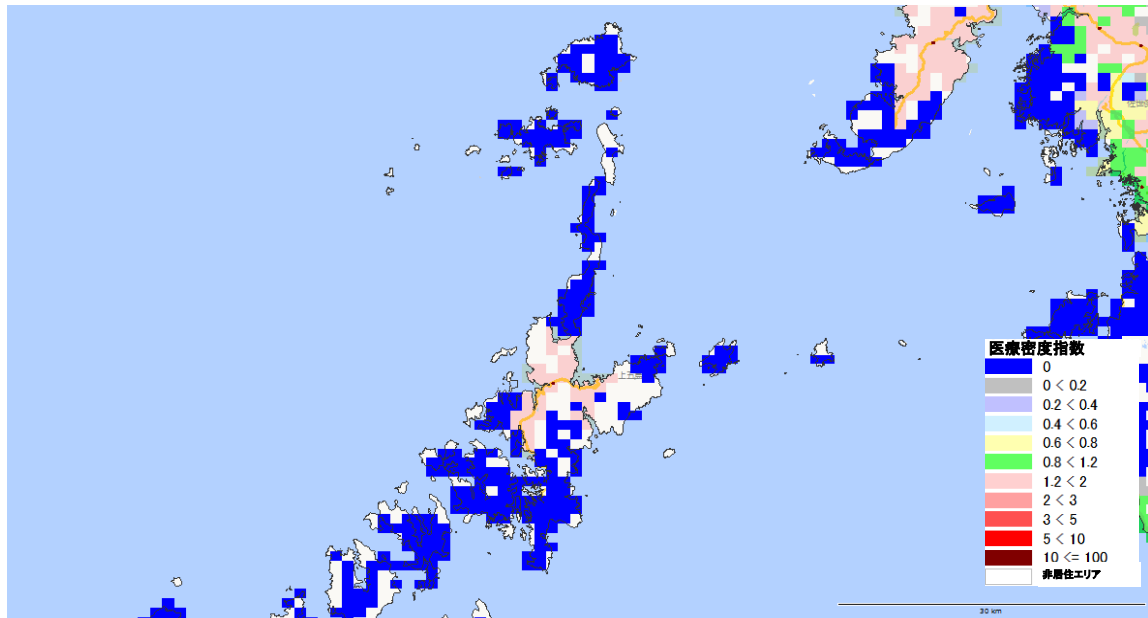
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が56床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に56床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値42)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には56床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



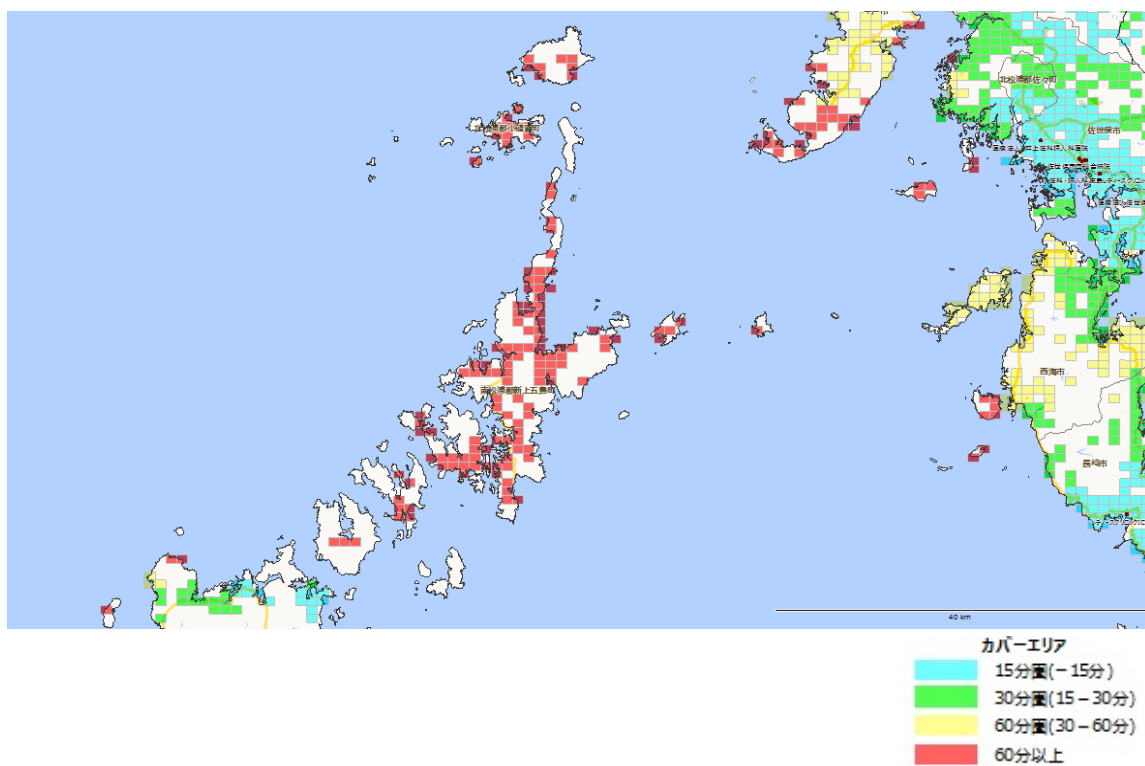
(上五島医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

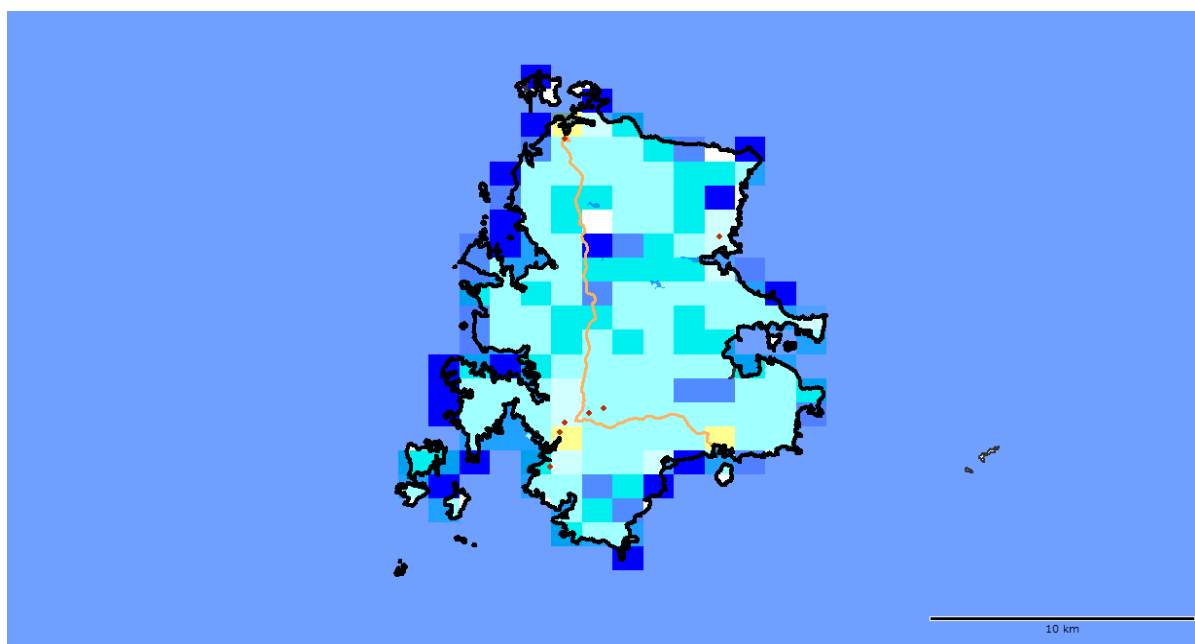
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 42-7. い き 壱岐医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [壱岐市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (壱岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 壱岐(壱岐市)は、総人口約27千人(2015年)、面積139km<sup>2</sup>、人口密度は194人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 壱岐の総人口は2025年に24千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて6千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 壱岐の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値63)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 壱岐の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数51、診療所医師数36)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。壱岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は74と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 壱岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、438人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が400床(偏差値60)、高齢者住宅等が38床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、464人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム35、サ高住35である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、100人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (壱岐医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

壱岐医療圏の総人口は、2005年31414人が、2015年に27103人と14%減少し、2025年の人口が23617人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

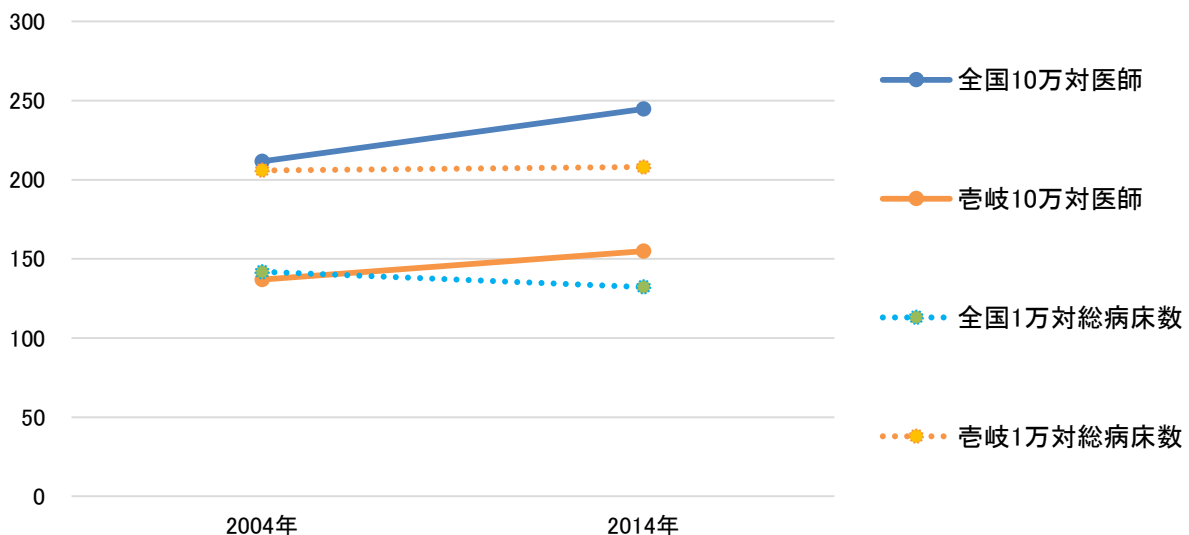
2004年の病院数が7(人口10万人当たり22.3病院(全国平均7.1)偏差値89)であったが、2014年に6(人口10万人当たり22.1病院(全国平均6.7)偏差値87)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が15(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に17(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が647床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に564床(人口1万人当たり208(全国平均132)偏差値63)と、83床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

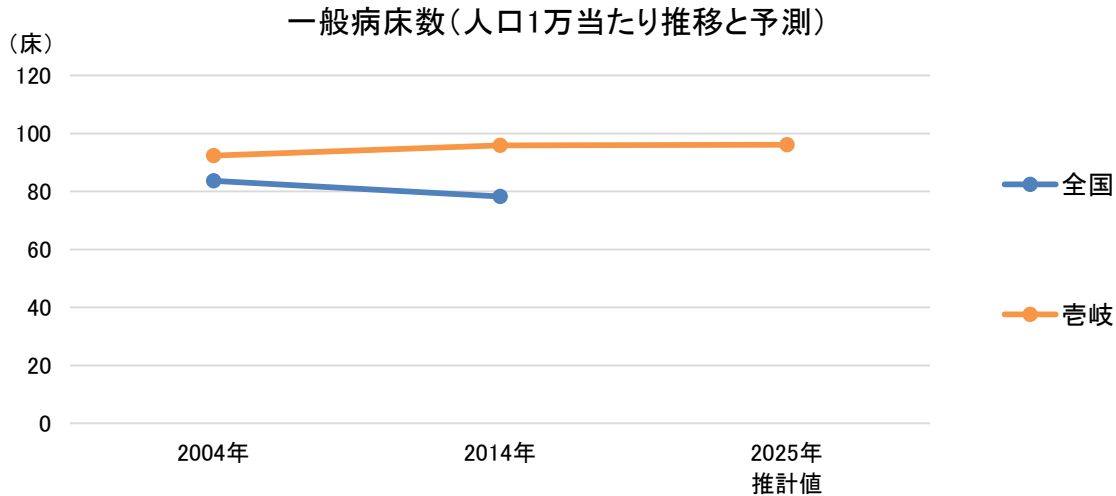
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が43人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に42人(人口10万人当たり155人(全国平均245人)偏差値40)と、1人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



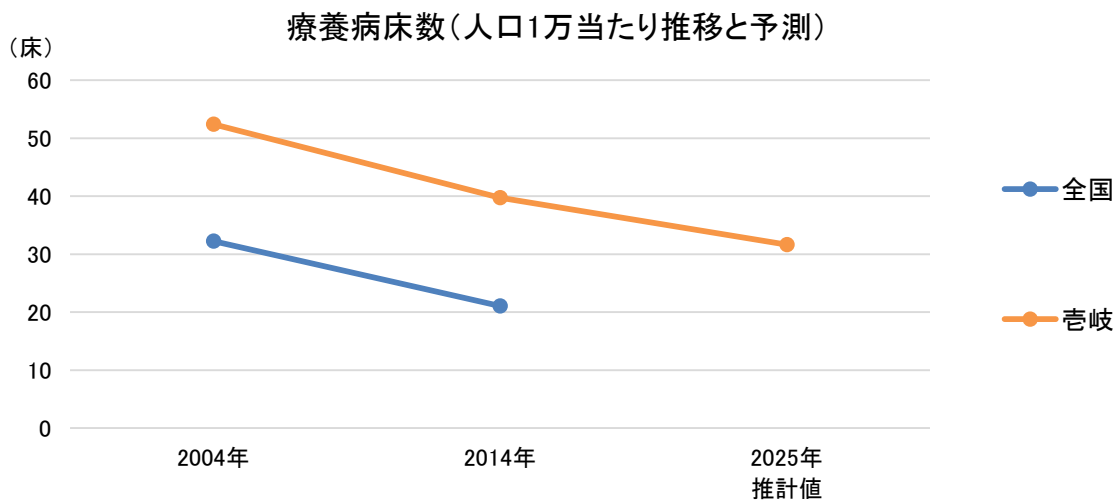
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が290床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に260床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値56)と、30床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には227床(2025年の推計人口1万人当たり96)になることが予想される。



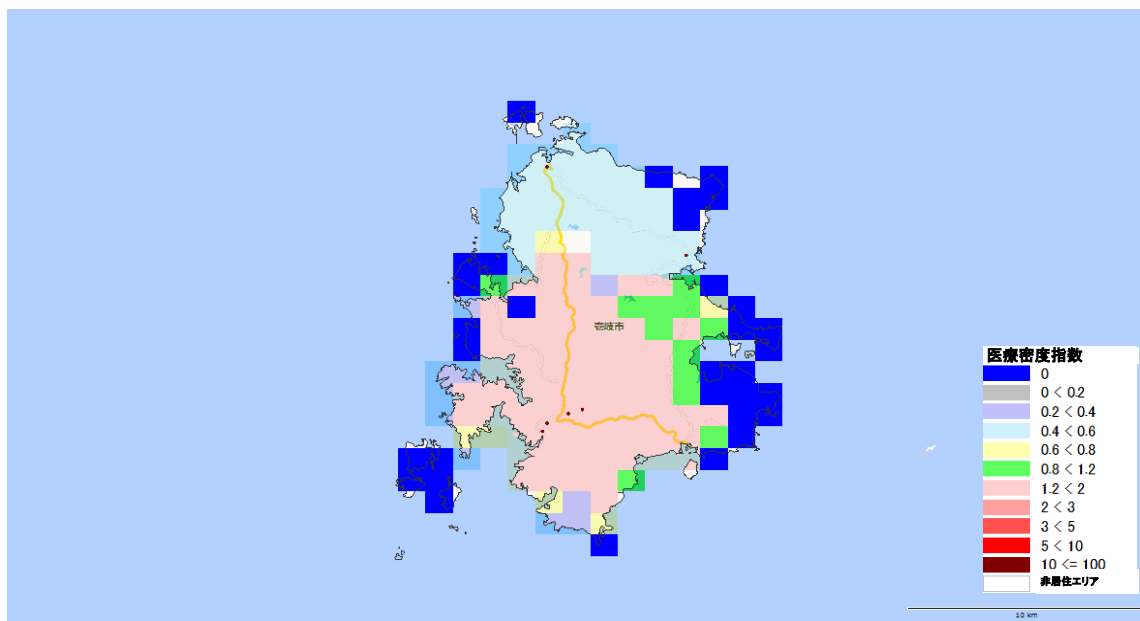
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が253床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に216床(75歳以上1000人当たり40(全国平均21)偏差値66)と、37床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には175床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



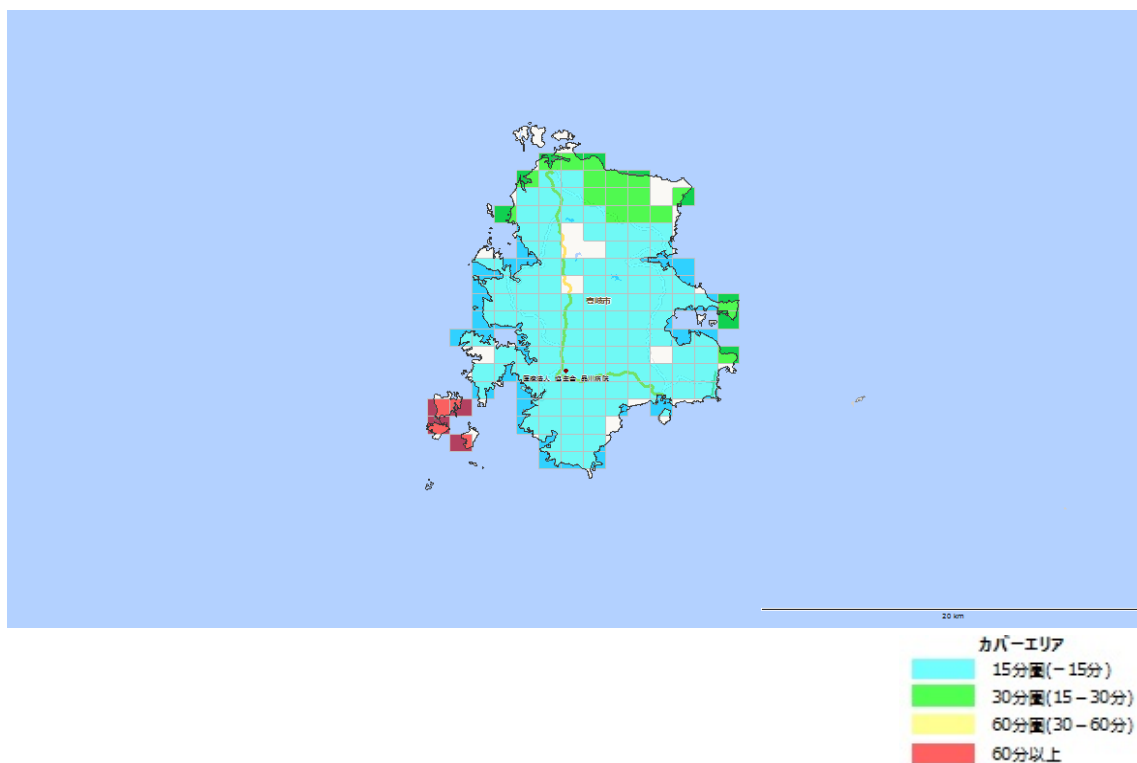
(壱岐医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

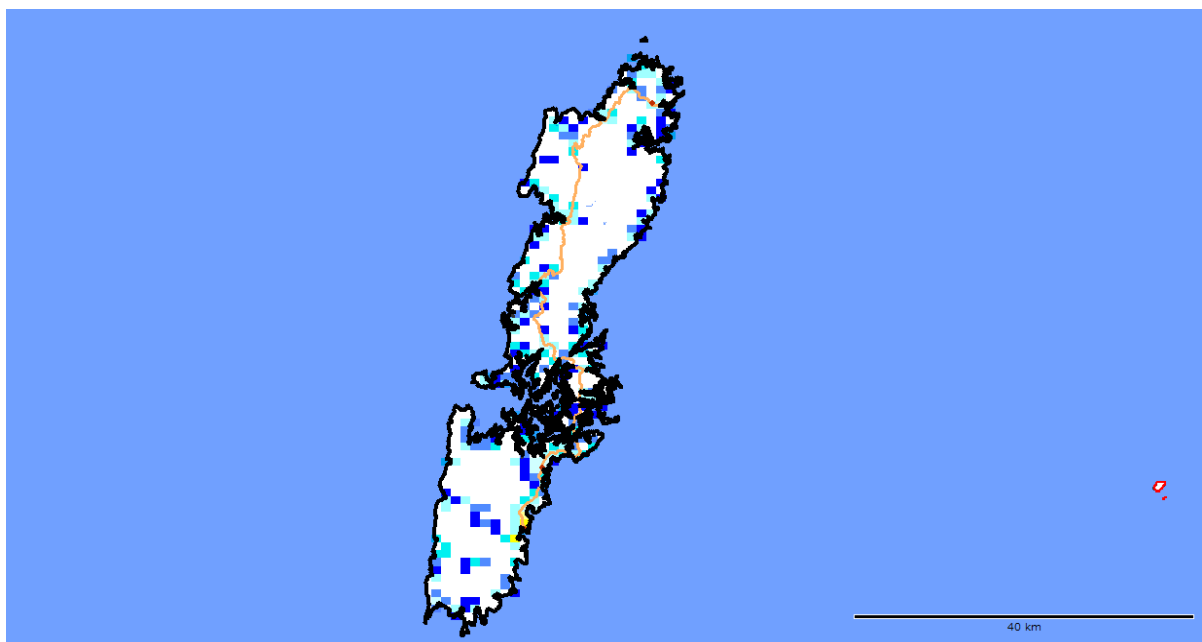
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



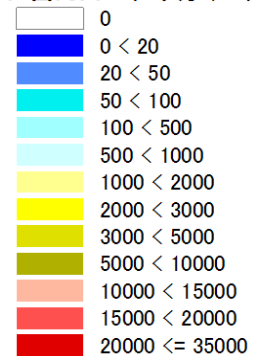
# 42-8. つしま 対馬医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [対馬市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (対馬医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 対馬(対馬市)は、総人口約31千人(2015年)、面積709km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 対馬の総人口は2025年に25千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に18千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の6千人が、2025年にかけて6千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 対馬の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値46)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 対馬の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.05で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が39(病院医師数42、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。対馬には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 療養病床は0である。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 対馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、580人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が440床(偏差値61)、高齢者住宅等が140床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、474人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム84、グループホーム56、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、38人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (対馬医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

対馬医療圏の総人口は、2005年38481人が、2015年に31457人と18%減少し、2025年の人口が25418人と予測され、2005年→2025年の間に34%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

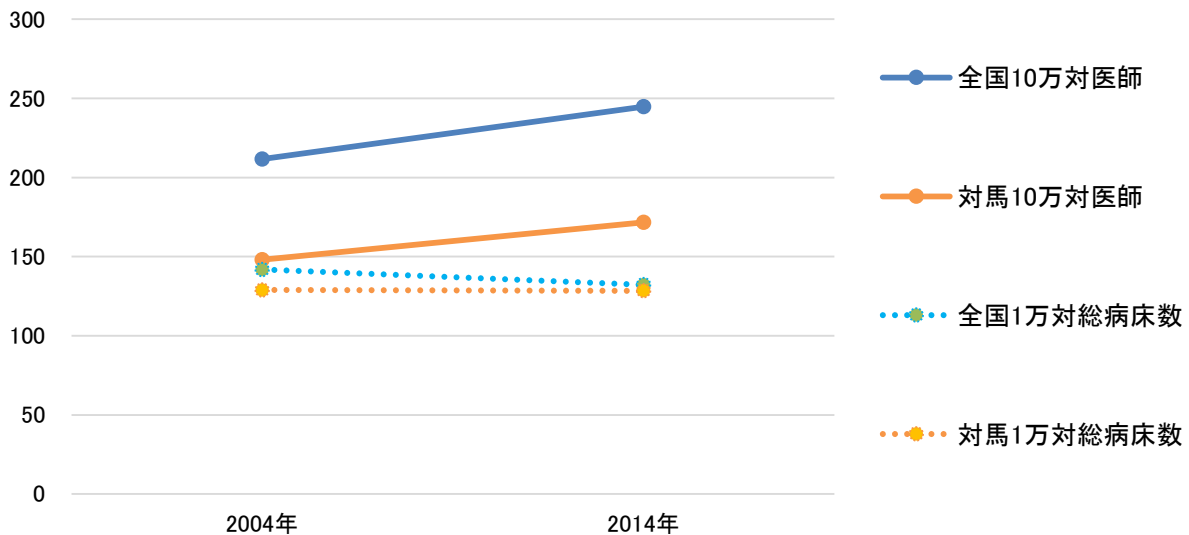
2004年の病院数が3(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に3(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に30(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値59)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が496床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に404床(人口1万人当たり128(全国平均132)偏差値49)と、92床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

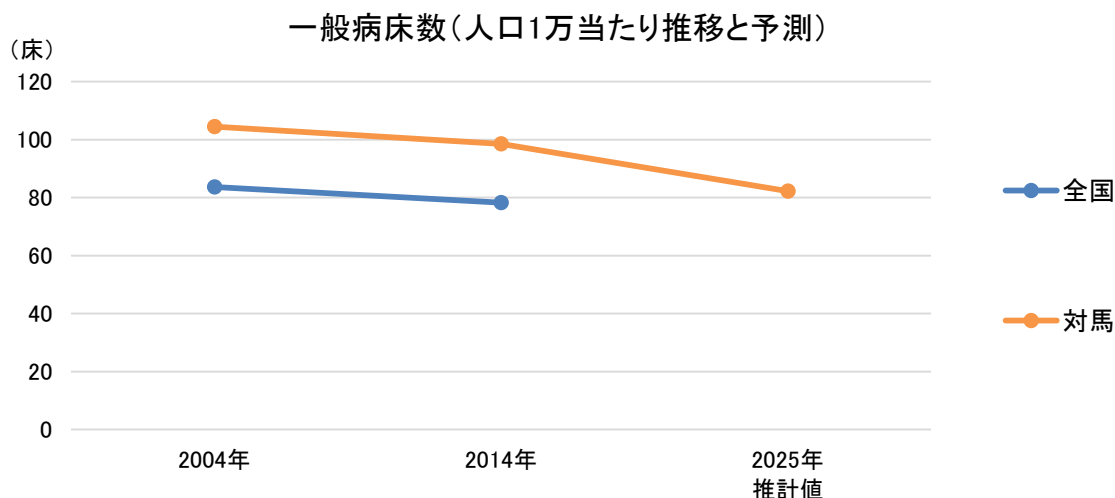
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が57人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に54人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、3人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



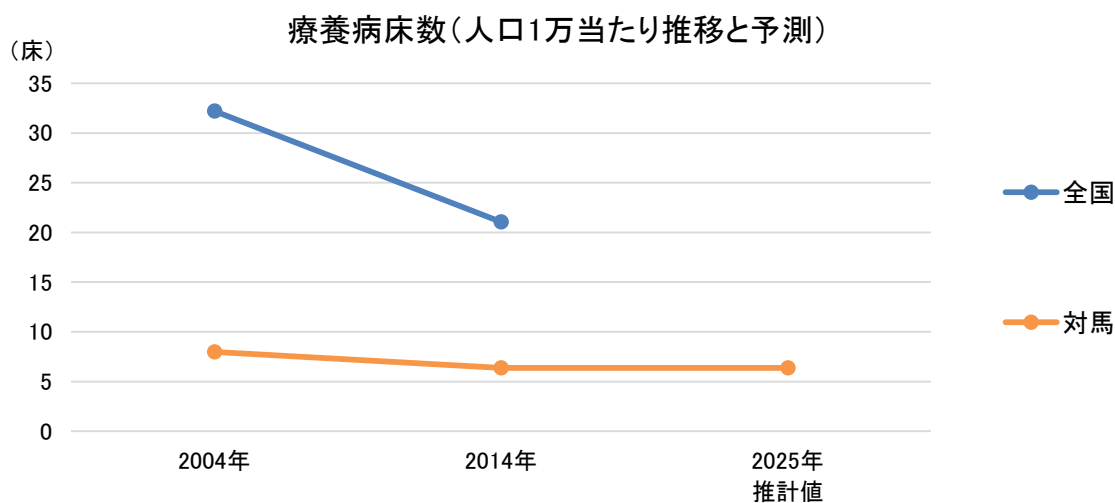
## 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が402床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に310床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値57)と、92床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には209床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



## 【療養病床の推移と今後の予測】

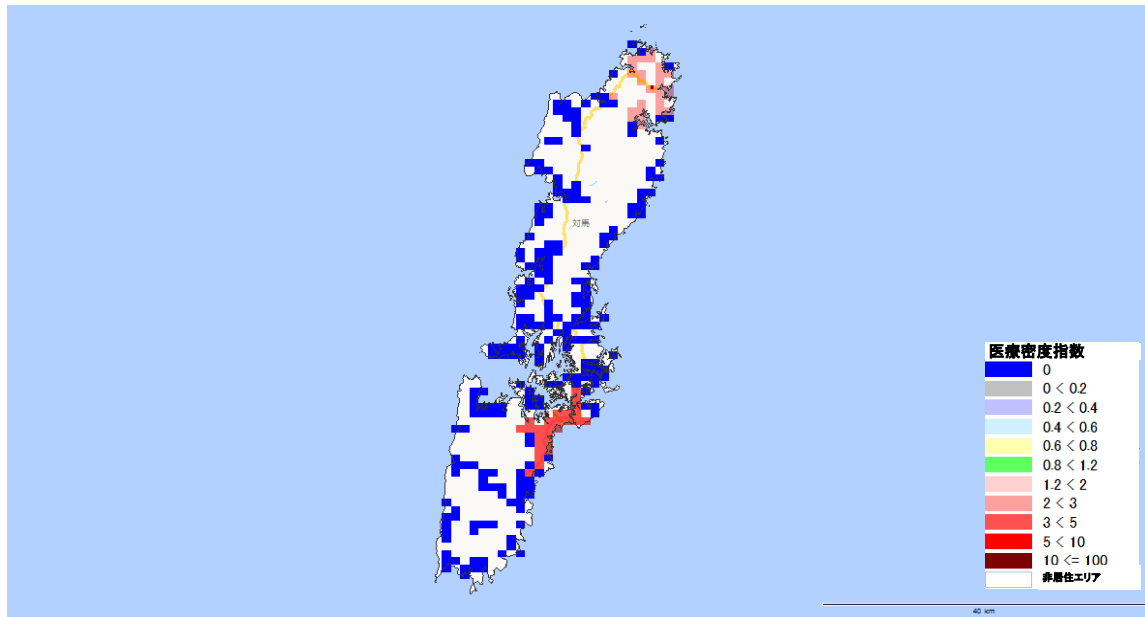
2004年の療養病床(病院+診療所)が37床(75歳以上1000人当たり8(全国平均32)偏差値36)であったが、2014年に37床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値38)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には37床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。





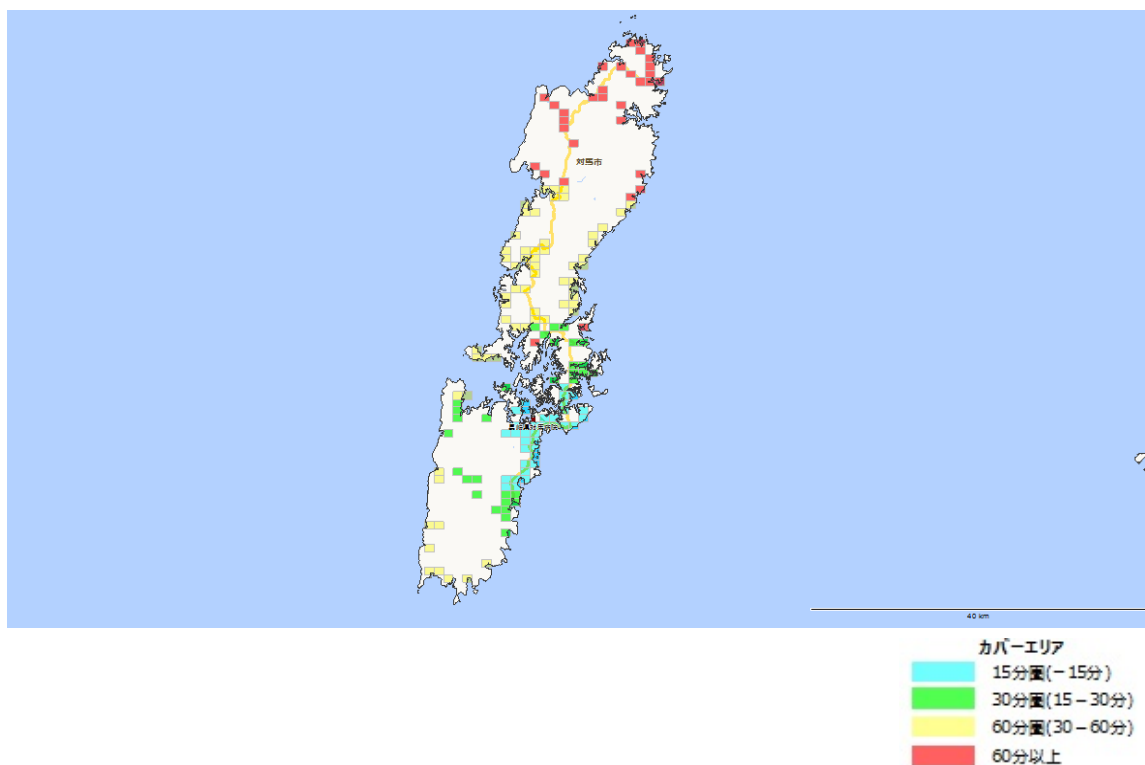
(対馬医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表42-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 42.長崎県(2017年版)

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。